

遠山ブリン

Toyama Burin

6

報酬に

勇者

たちは

を希望です



キャバ嬢バルドーム



報酬に

をっ
希望です

6

遠山布林

Toyama Burin

ちまは

6

The hero wants a married woman
as a reward



第 23 話

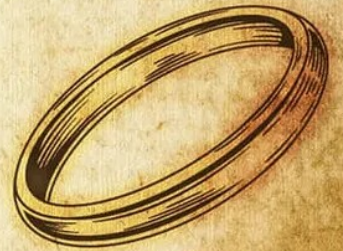
勇者さまと人妻勇者④

006

第 24 話

勇者さまのスキル

052



第 25 話

勇者さまと4つの宝具①

092

第 26 話

勇者さまと4つの宝具②

130

勇者^{さま}は報酬に
人妻^を
ご希望です

第23話

牛の獣人にとって
角は魔力を貯蔵する
機関である

歴戦を重ねて
経験を積んだカリンが
その角に有していた魔力量は

常人の域を
はるかに超えていた

カリンは角に溜めた
膨大な魔力によって

あらゆる攻撃から身を守る
高位の防御魔法を常時発動していた

一見無敵に見えるカリンだが

防御魔法の起点となる角だけは
その範囲外である

つまり
角を折られることで

防御魔法は
決壊したのであつた——
!!



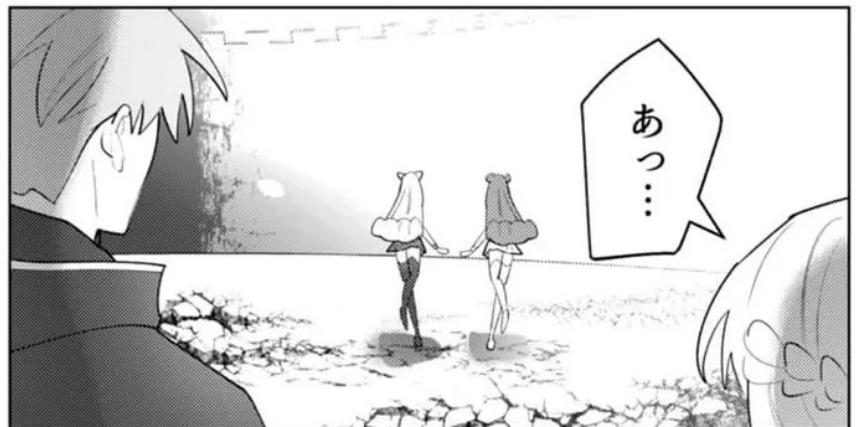




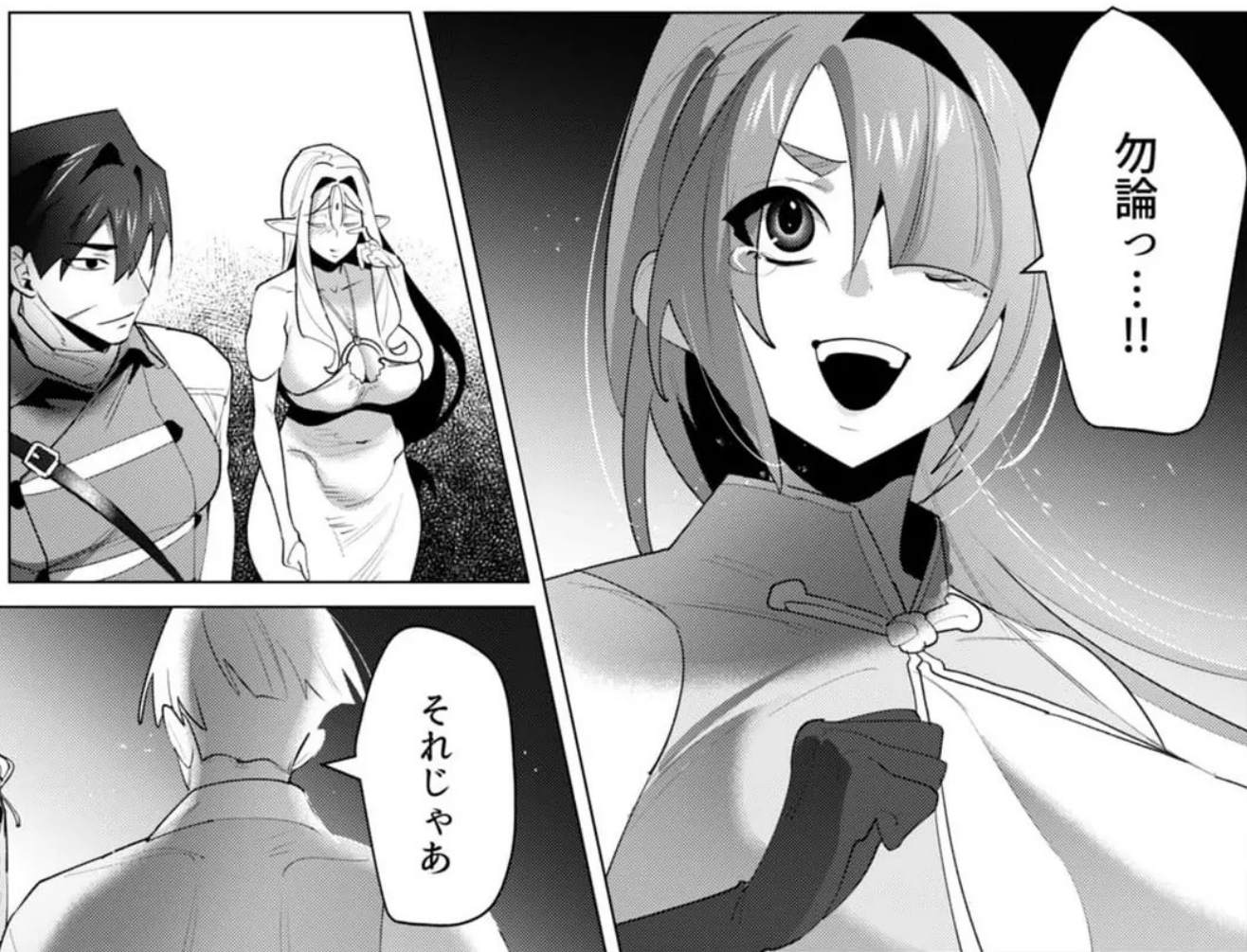
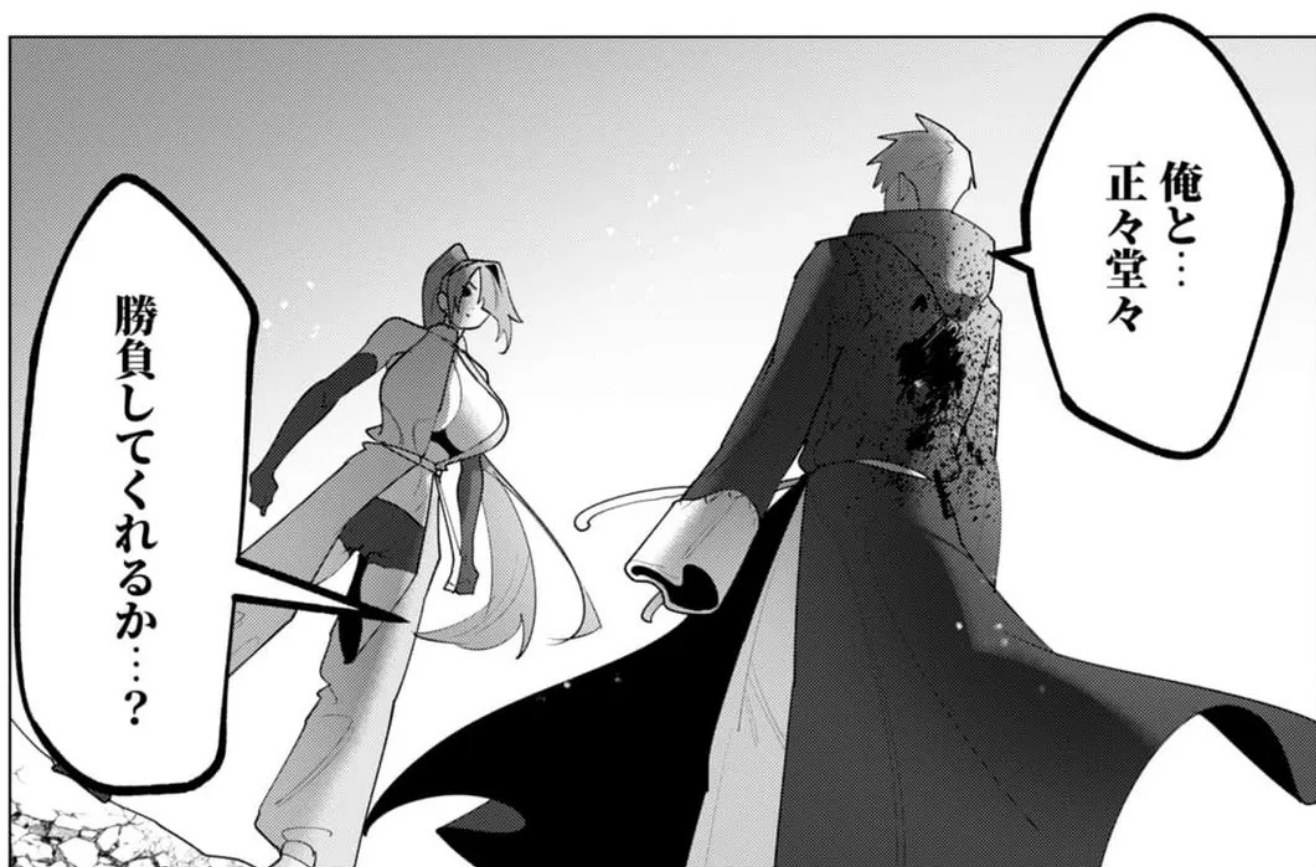














ギア選手と
フローリー選手の

武闘大会の決勝戦と
いこうじゃないか！

！



カインさんは
それでいいのかい…？



ああ…僕は試合でガル選手…
いやカリンに勝てはしなかった

そしてカリンは
敗走…

残る大会の選手は
君達二人だけだ

当然だろう？



充分さ…



それは
問題ない

非公式の試合には
なってしまうけれど……

ただ…
大会がこうなってしまった以上



グフツ…
私はケガ人を見
て回りますね

審判は私に
まかせて！



あなたの力を
見せてやれっ!!

……
頑張っ……!!

フローリー…!!





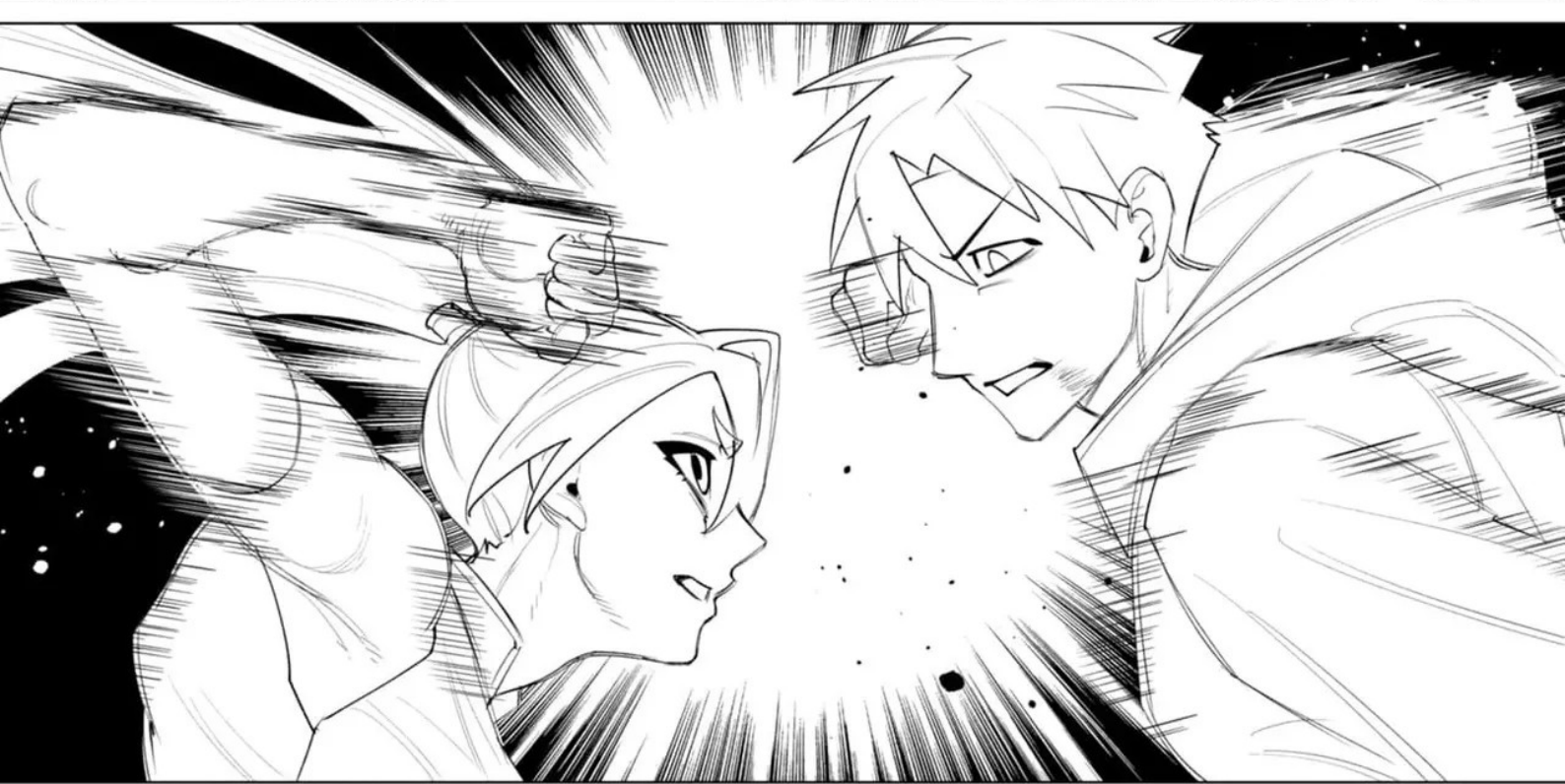


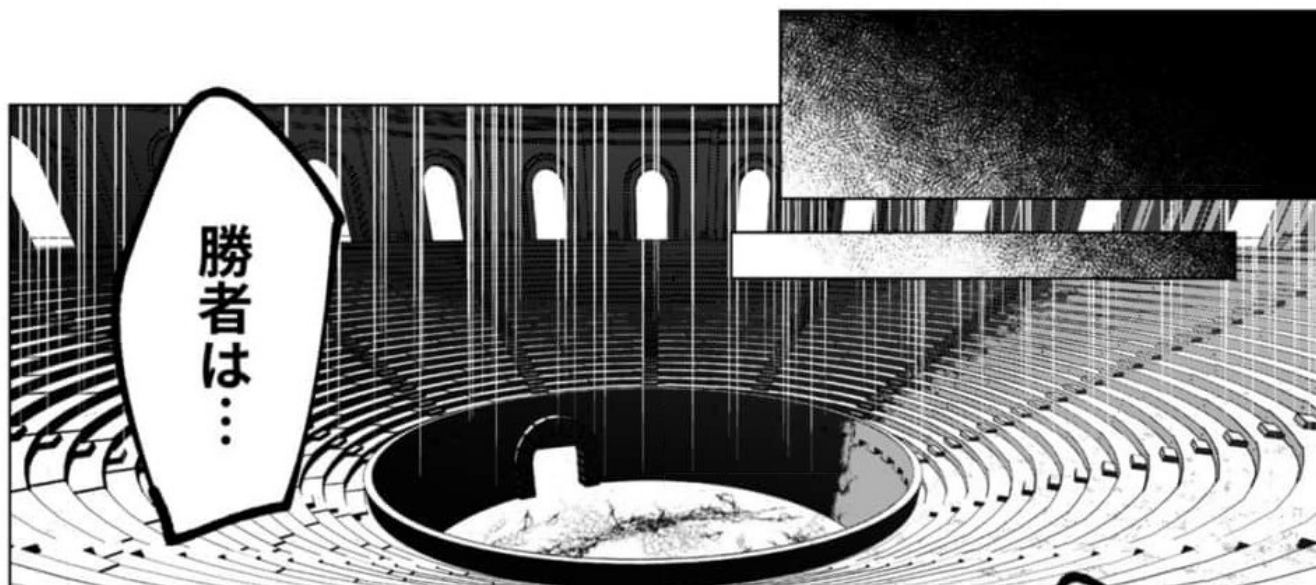
これより
武闘大会の決勝戦を
はじめるっ!!



ギアに見てもらうんだ…













俺にやられる程度の實力なら
それまでだろうってな…



魔王を倒せる…!!



だがきつと…

お前たちなら
きつと…!!











その胸の痛みは

興奮に
変わっていたんだ…

まるで…
見せつけられることで

心の奥が刺激されている
みたいで…

ギア!!

もうっやめて…!!

ギアさん
あなたは今…

自分が何を言ったか
分かってるんですか!?



夫の目の前で
他の男に抱かれろなんて…

最愛の妻に対して
言うことですかっ!?

……
なんとでも言え

軽蔑してくれても
構わない



カインさん…



大切な人が奪われて
痛みを感じるのは

他の誰でもないっ…
あなただ!!





そんなあ…!!

けど常識的に
おかしいですよ!

不倫になっちゃうじや
ないですか!!

ダーリンはこれじゃないと
興奮しないのっ!!

私もだけど…

頼むよ…
君しかいないんだ!



毎回勃起魔法をかけて
行為するのも
疲れますよ…

そもそもアンナさんのような
痴女は好みではありませんし…

けどこれも魔王討伐のため…
頑張ってるしか
ありません…!!

グフフ…見られて
感じちゃってますねえ…♡



アンナ…
僕より気持ちいいかい?

ごめんなさい…
ごめんなさい…

ごめんなさい
あなたあつ…♡





今回はわたくし達の順番はないみたいですね

場所を移しましょう

あ…ああ…

とんでもないことになったな…

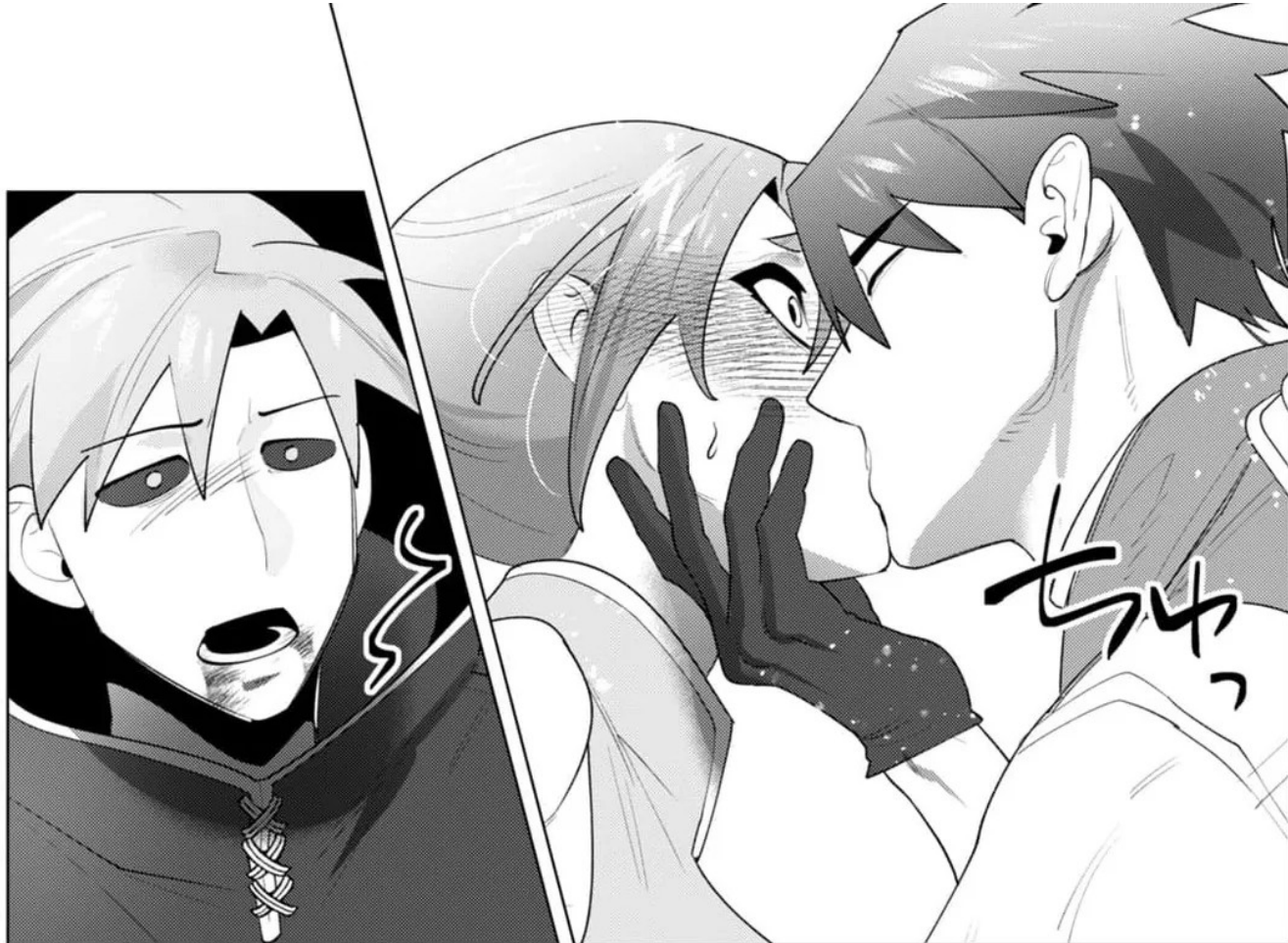
なんでルミナは普通に受け入れているんだ…!!

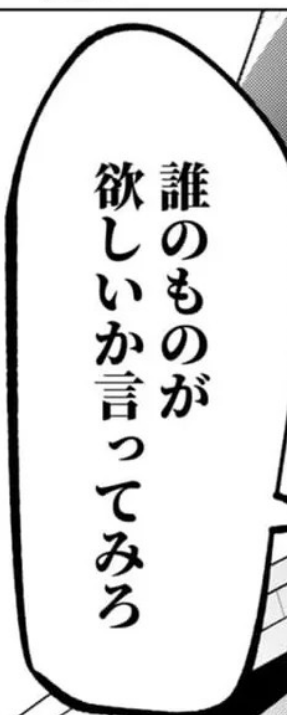
ルミナは…クロエが自分以外としてるのは嫌じゃないのか…?

私は…

どうしてだろう…















ゴゴ

~~~~~♡♡♡

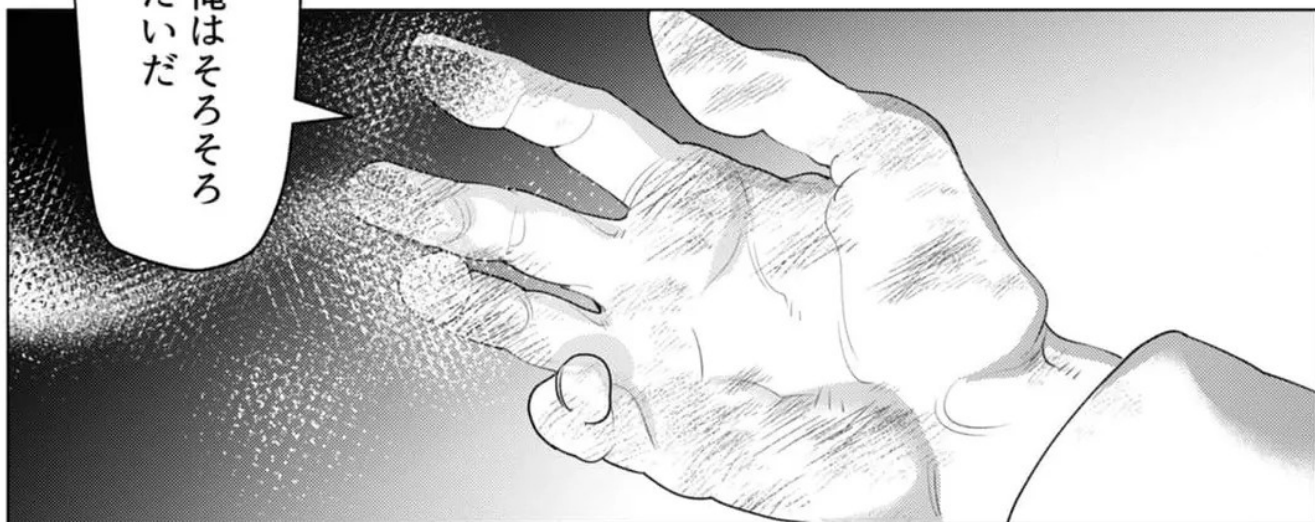
ゴゴ~~~~~

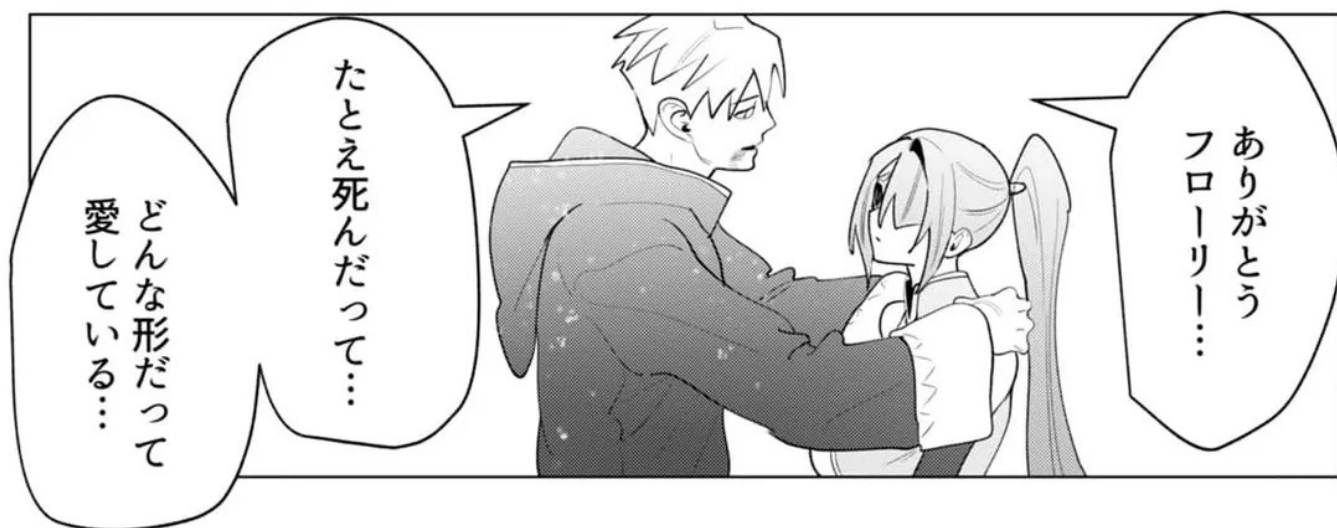
カオス

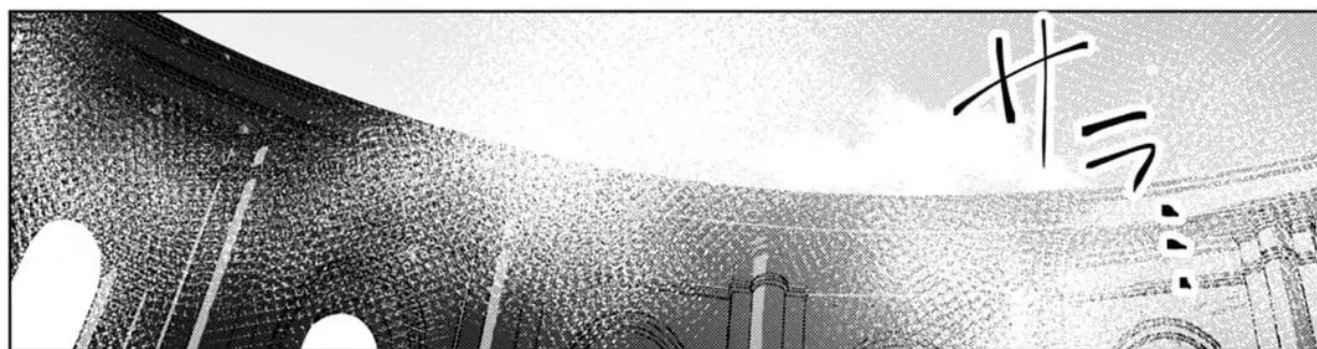
~~~~~!!

ゴゴ~~~~~

ゴゴ







ここには
変態しかいない
のか…



…ああ



彼…
逝ってしまいましたね…

勇者^{さま}は報酬に
人妻^を
ご希望です

第24話

北の勇者アンナと
別れたクロ工達は

次の旅路に向かう
準備をしていた

それじゃ

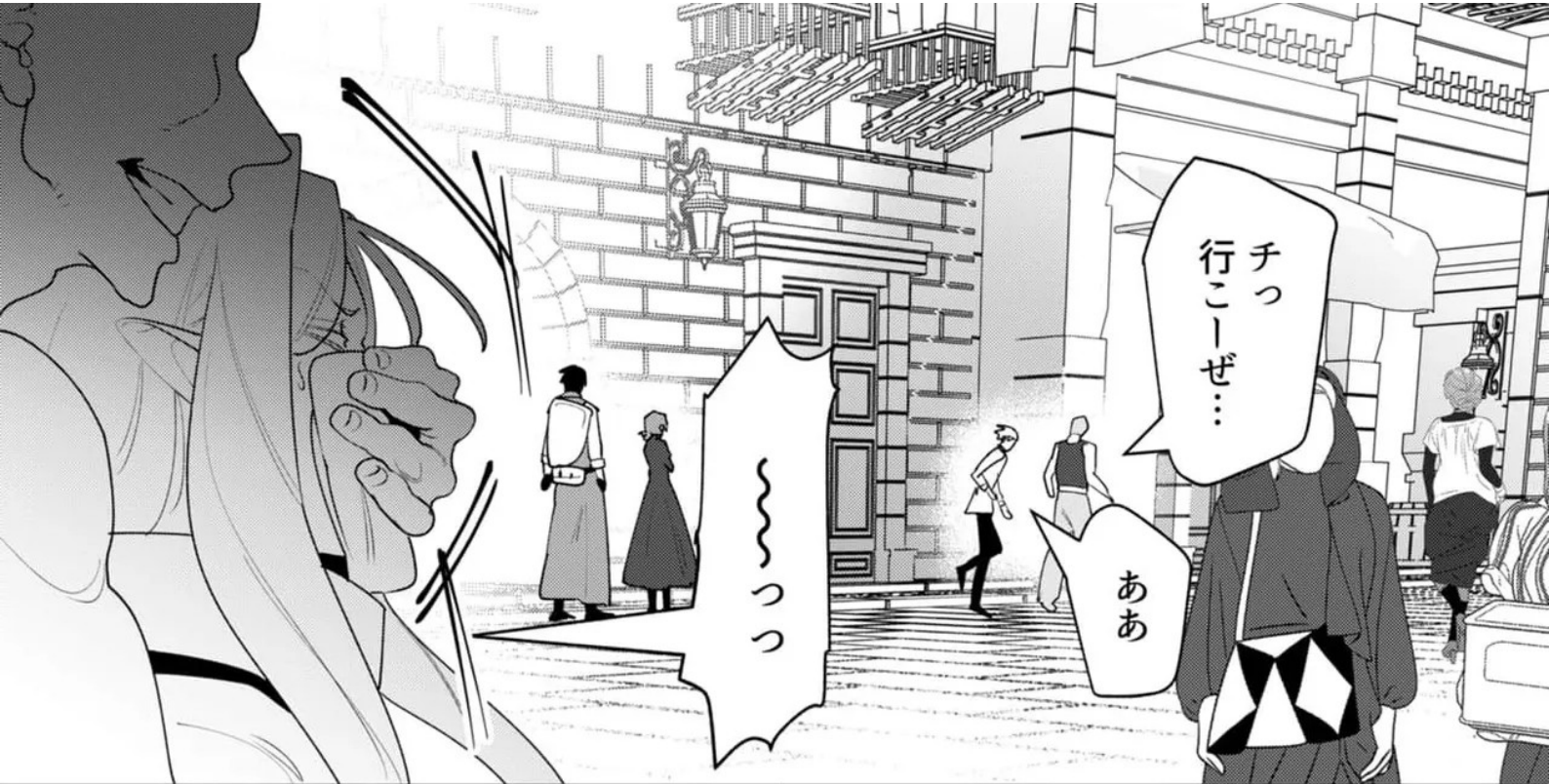
私達は近場で
トレーニングがてら
狩りをしてくる

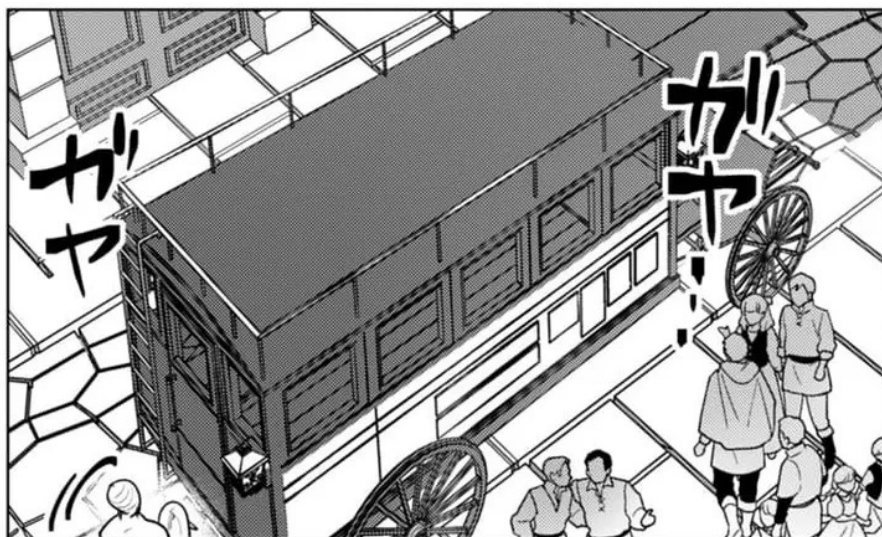
今夜は野営するよ

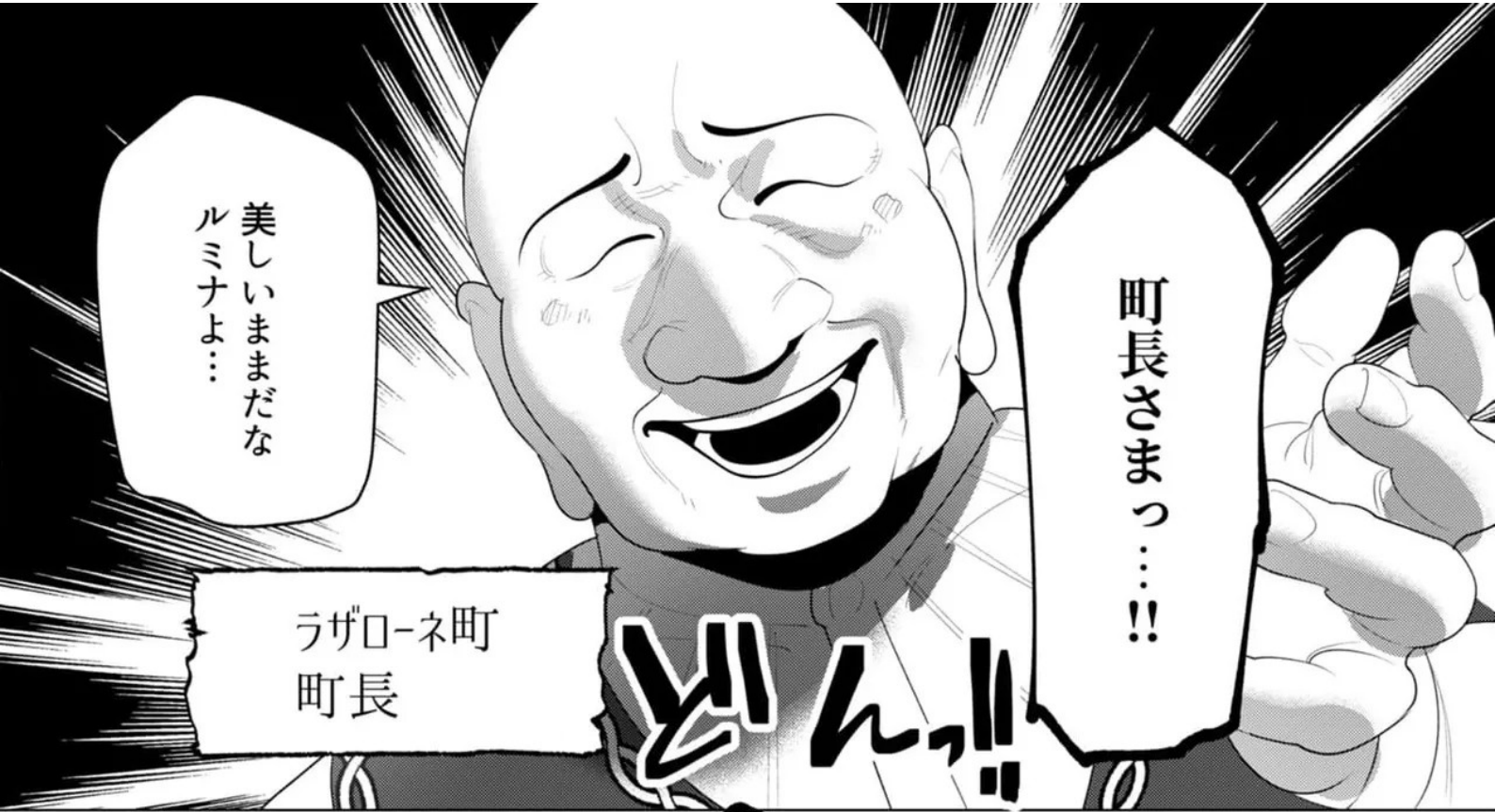












美しいままだな
ルミナよ…

町長さまっ…!!

ラザローネ町
町長

どん!!



お前は私の
奴隷なのだからな!

連れ戻しに
来たまでよ!



なぜあな
たがここ
に…っ!?

なぜ!?

何を言
うルミ
ナよ



何を…

ギリッ



何を勝手な
ことをっ…!!



ブレイズボール
炎の球!!



ブレイズボール
炎の球!!



無駄だ



その首輪は
魔法を封じ込められる様に
改良したのだ!



もはや何もできまい!

ニヤァ

馬車を出発させなさい

ハッ

えっ

いや…

降りしてっ!!

降りして下さいっ!!



長い旅になるが
やっとお前を連れ戻せる…!!

そんなっ…
いやっ!!

クロエっ!!

助けてクロエっ!!



あの勇者の名を
呼ぶなっ!!



あはははは!!

今頃は私が用意した
人妻とやってる頃だろうな!!

あの男は来ないぞ!

!!



...



お前を攫うには
あの変態勇者の目を
欺く必要があったのだ



まさか…



そう
あいつらは
私が雇ったのだよ!!



美しい人妻を助けた勇者!!

その後の男がやることと
言えば…

なあ?

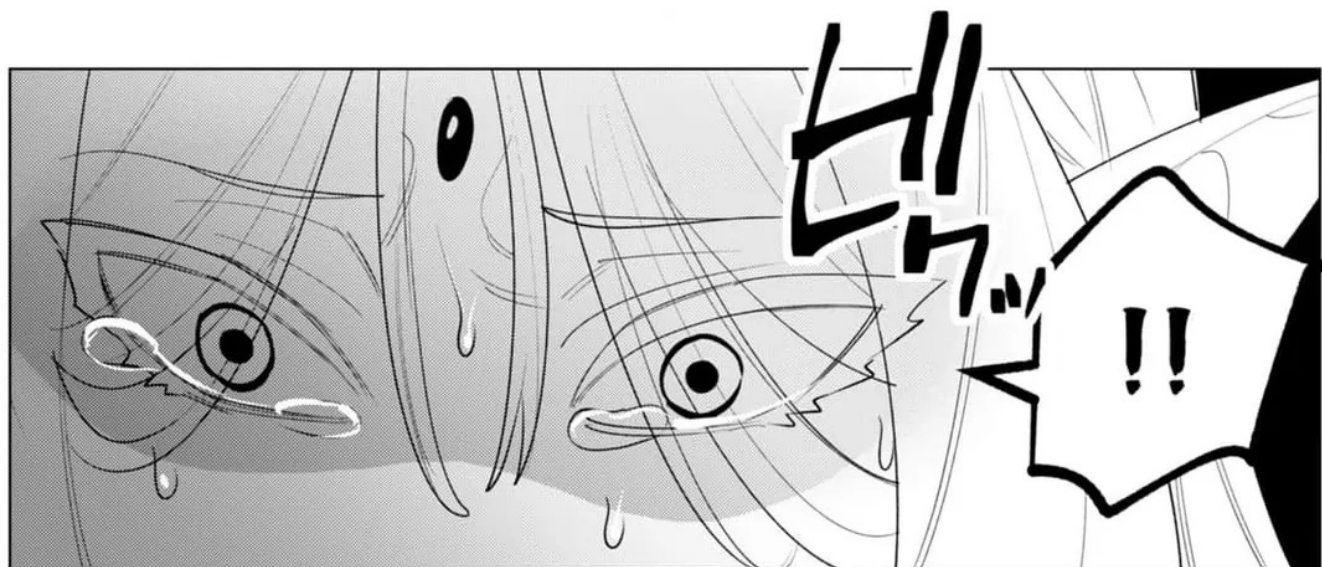


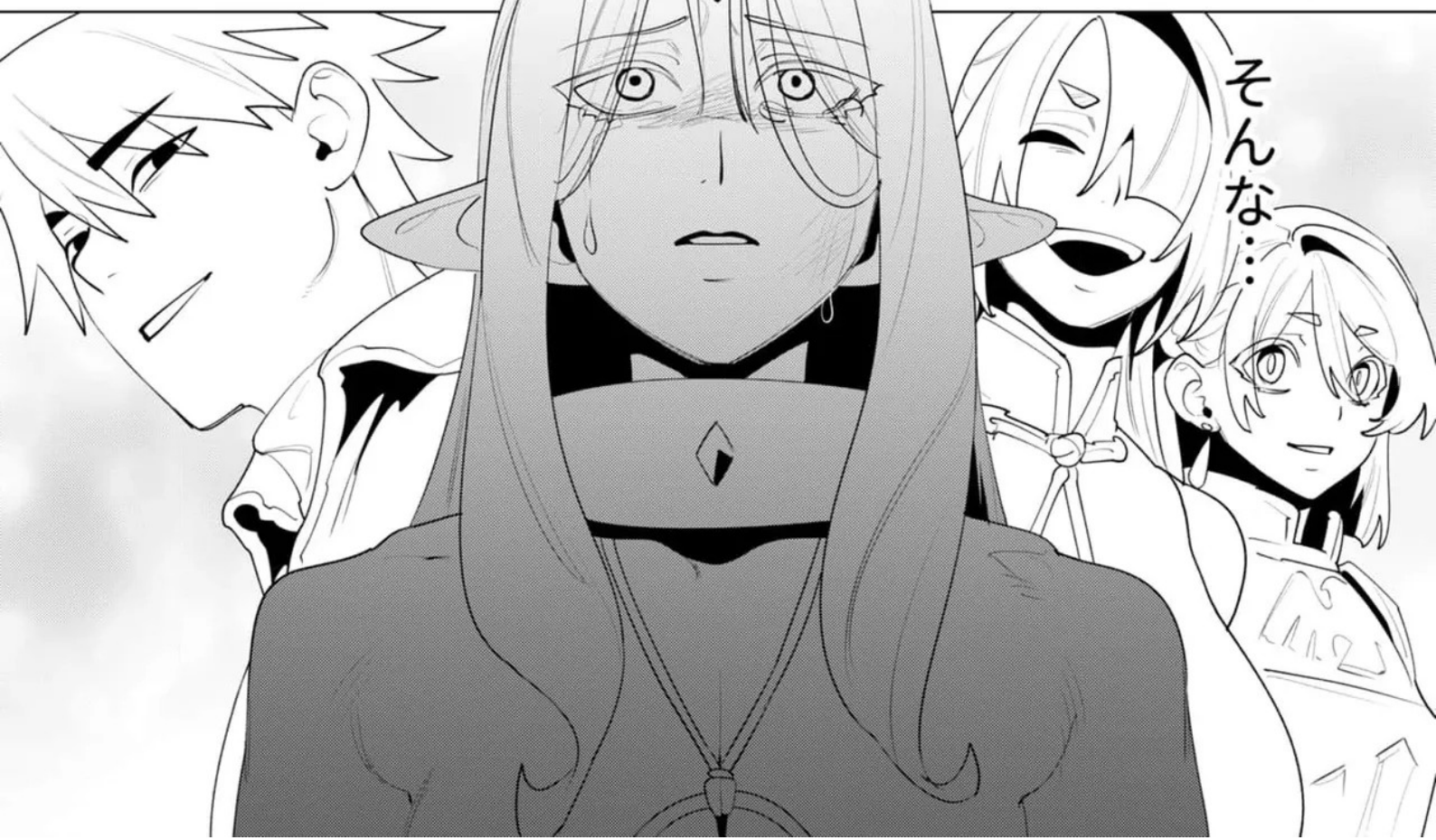
お前が一番
分かってるだろう?

ルミナよ

……



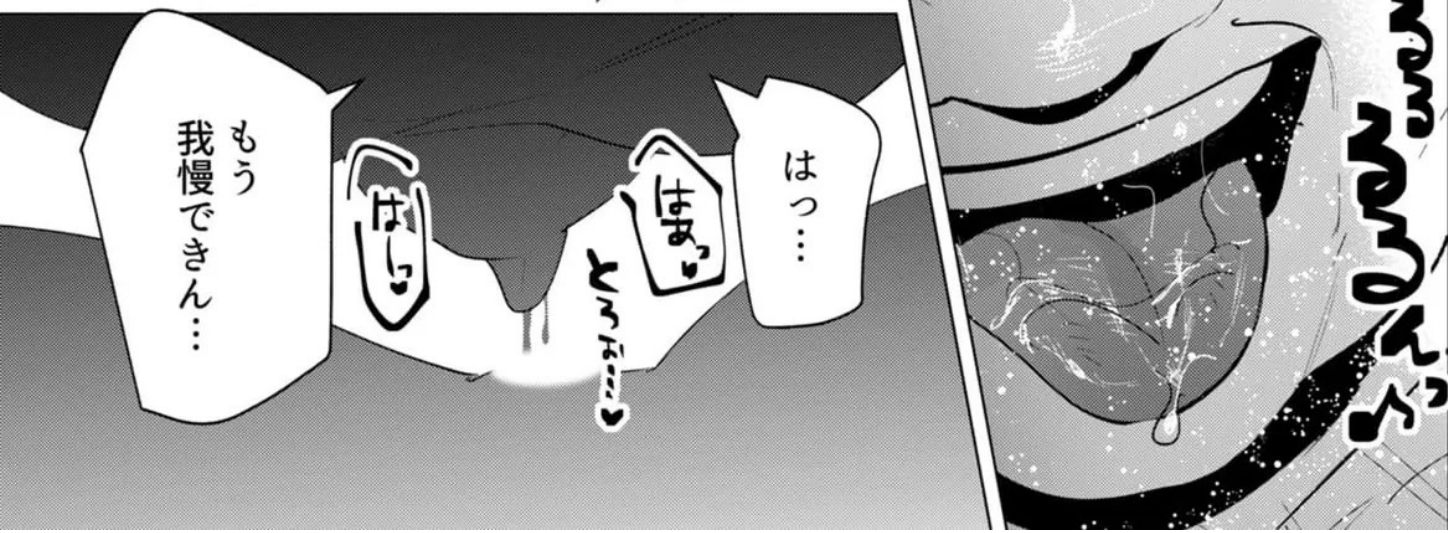














っ!!



挿入れるっ♡♡

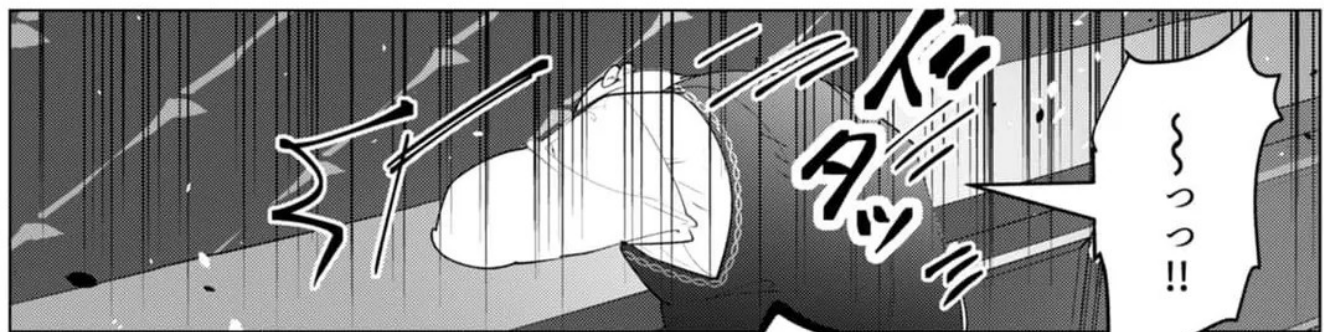
トビ

♡♡



うおわっ!?

カッパ





そこから

ここを探すのは
一苦労だったぜ…

えつと…

どういうこと
なんですか？

何故クロエが
わたくしの痛みを…？

言
つ
て
な
か
つ
た
が
…

勇者である俺のスキル…

「英雄護心」
ヒーローハートは

俺にとって特別な相手の
ダメージを
俺が肩代わりする事が
できる能力だ



クロエにそんな
スキルがつ!!?

たしかに!!
先程叩かれた箇所は
それほど痛く
ありませんでした!!

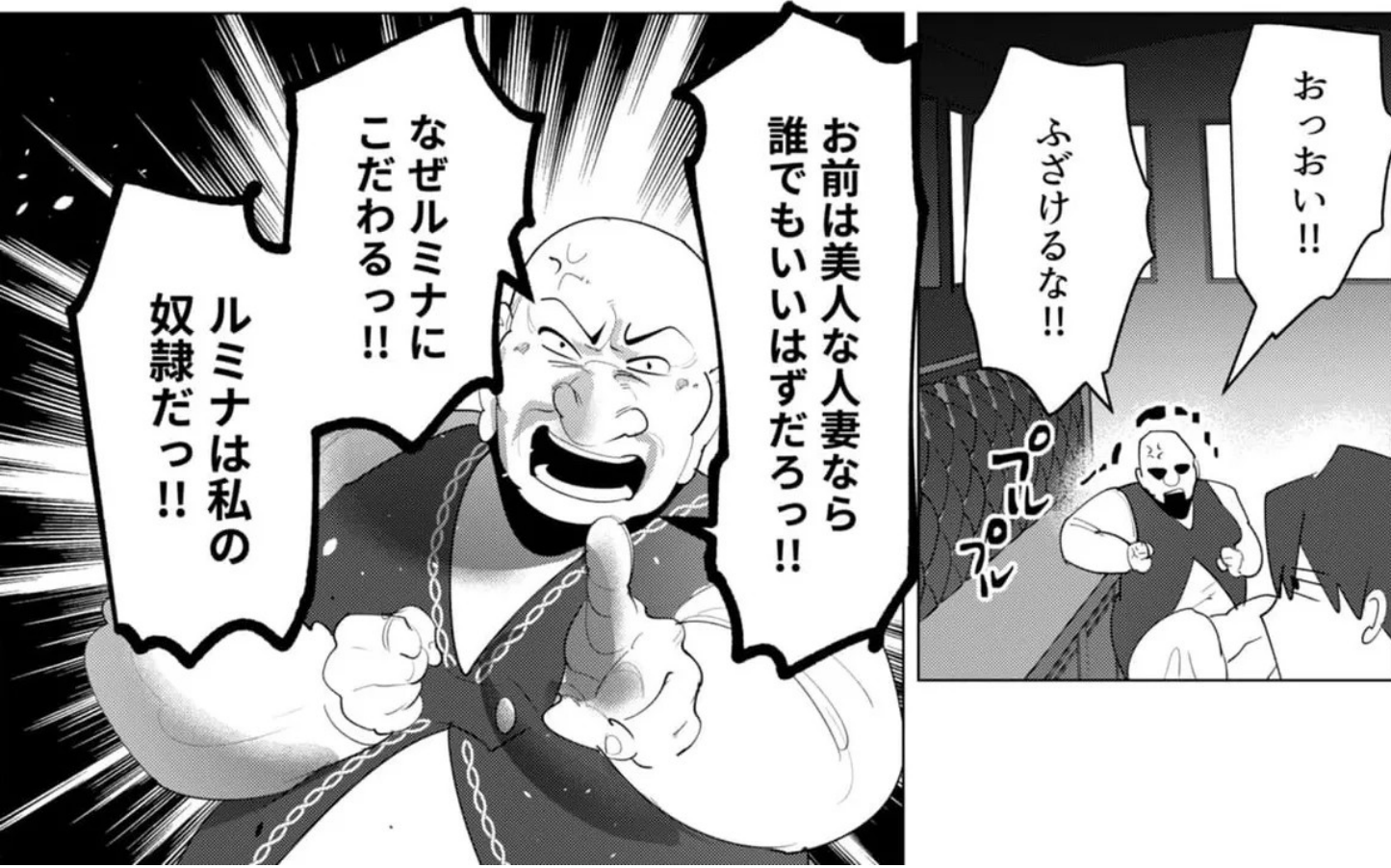
以前高いところから
落ちた時も
大したケガを
しませんでしたわ!!

(3話参照)



...って
それよりっっ!!

特別な相手
って...♡



お前は美人な人妻なら
誰でもいいはずだろっ!!

なぜルミナに
こだわるっ!!

ルミナは私の
奴隷だっ!!

おっおい!!

ふざけるな!!









ニギ...

ニギ...

...はっ♡



あっ♡
下のお口っ

クロエとキス
しちゃいましたっ...♡



あっ♡

はい
挿入ってる...♡
クロエのがわたくしのナカに...



とちゅん♡

♡♡♡♡♡

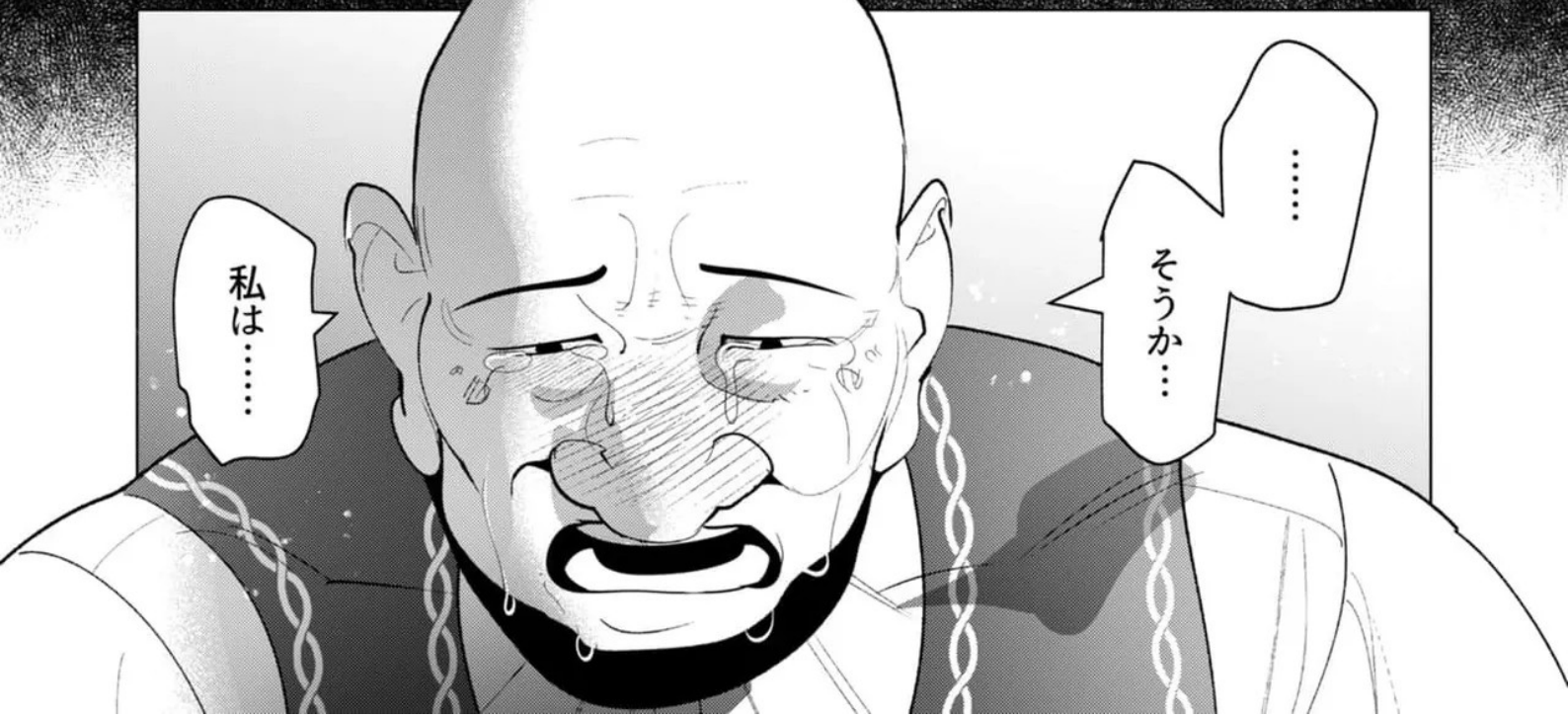
奥までっきましたあっ...♡♡

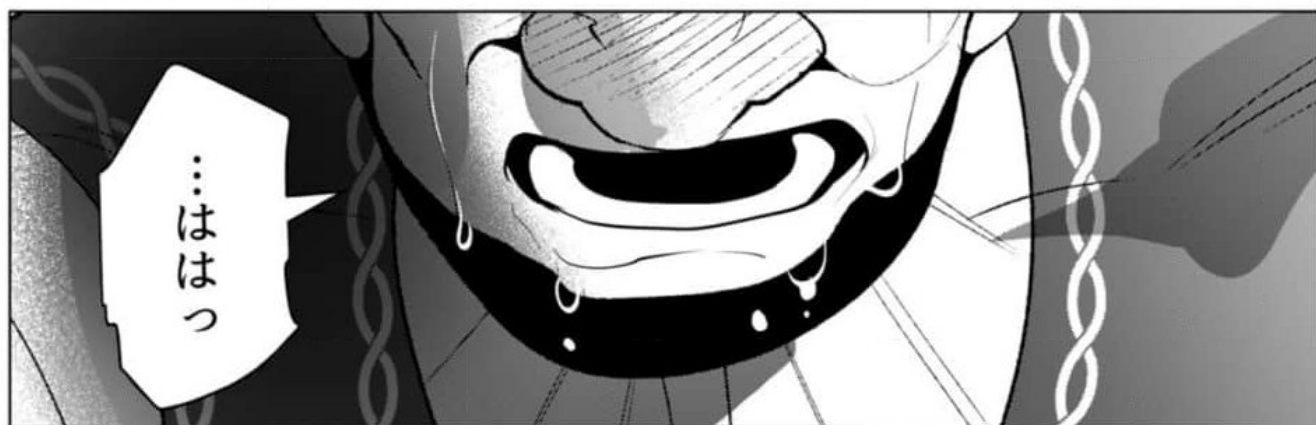
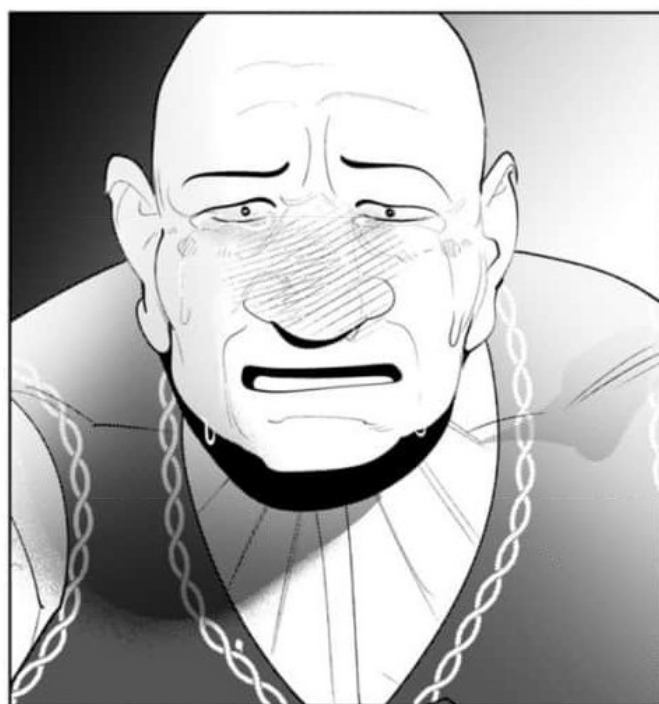




















四天王っ…!!

大魔王様直属…

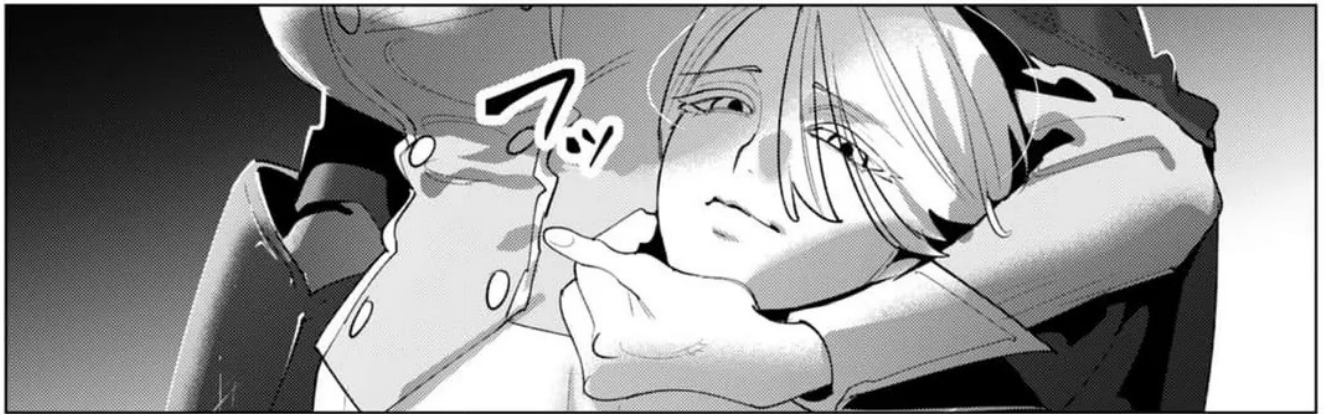
んっ!



魔王軍の質も
落ちたものだねえ…

勇者^{さま}は報酬に
人妻^を
ご希望です

第25話



この三人は昔
バルドームと共に大魔王に
仕えていた

大魔王直属四天王
である



4人とも大魔王を崇拜し
主君と部下の関係を越えた
好意を抱いていたが



妻に選ばれたのは
バルドームだった

しかしその後
大魔王は勇者によつて
封印されてしまい



バルドームは
大魔王の代理として
魔王となる

バルドームの下に就くことに
反発した3人は各地に散り



それぞれ夫を迎えて
今に至る……



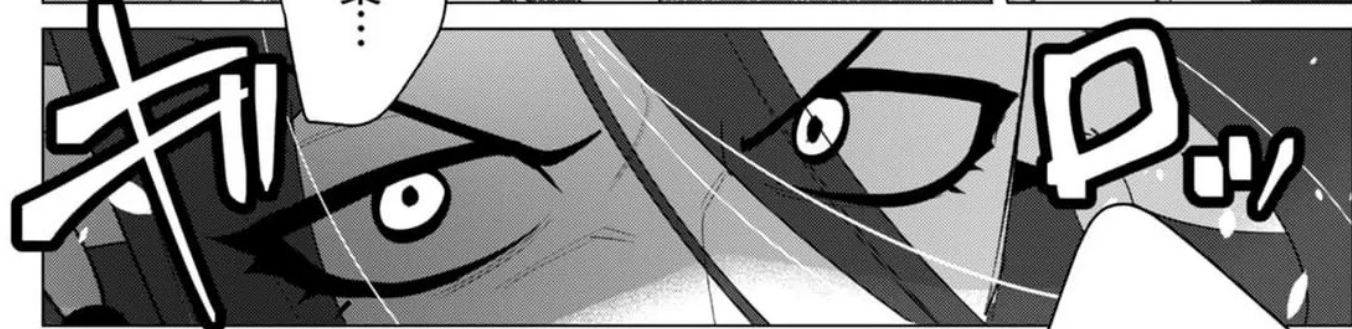
僕たちが
何故ここに…

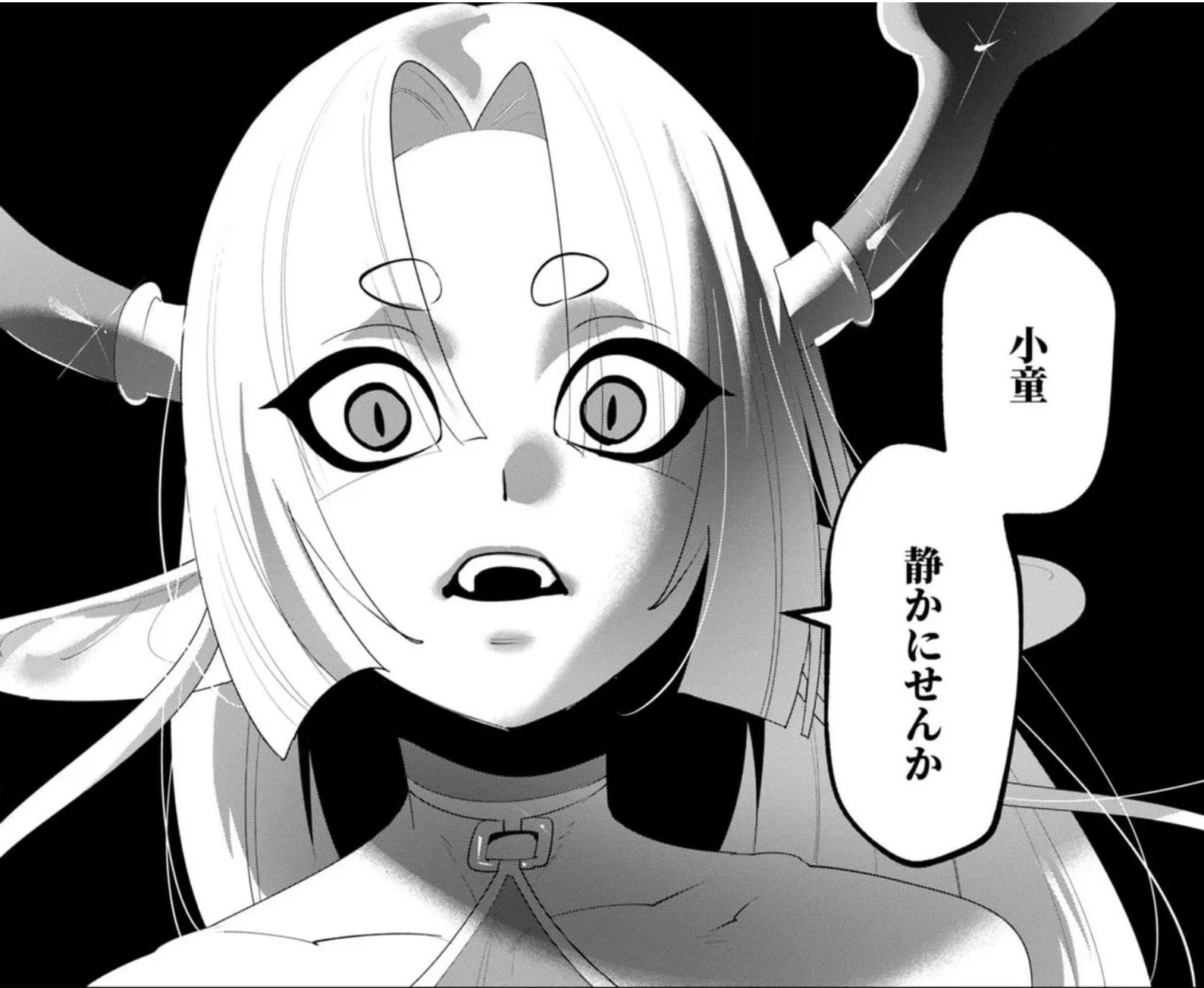
だって？

大魔王直属四天王
絶死のエディーン
(デウラハン)

決まってるじや
ないか







小童

静かにせんか



!?

なんだっ

身体が勝手に
震えてやがるっ!!!









大魔王直属四天王
千里眼のロゼッテ
(サイクロプス)

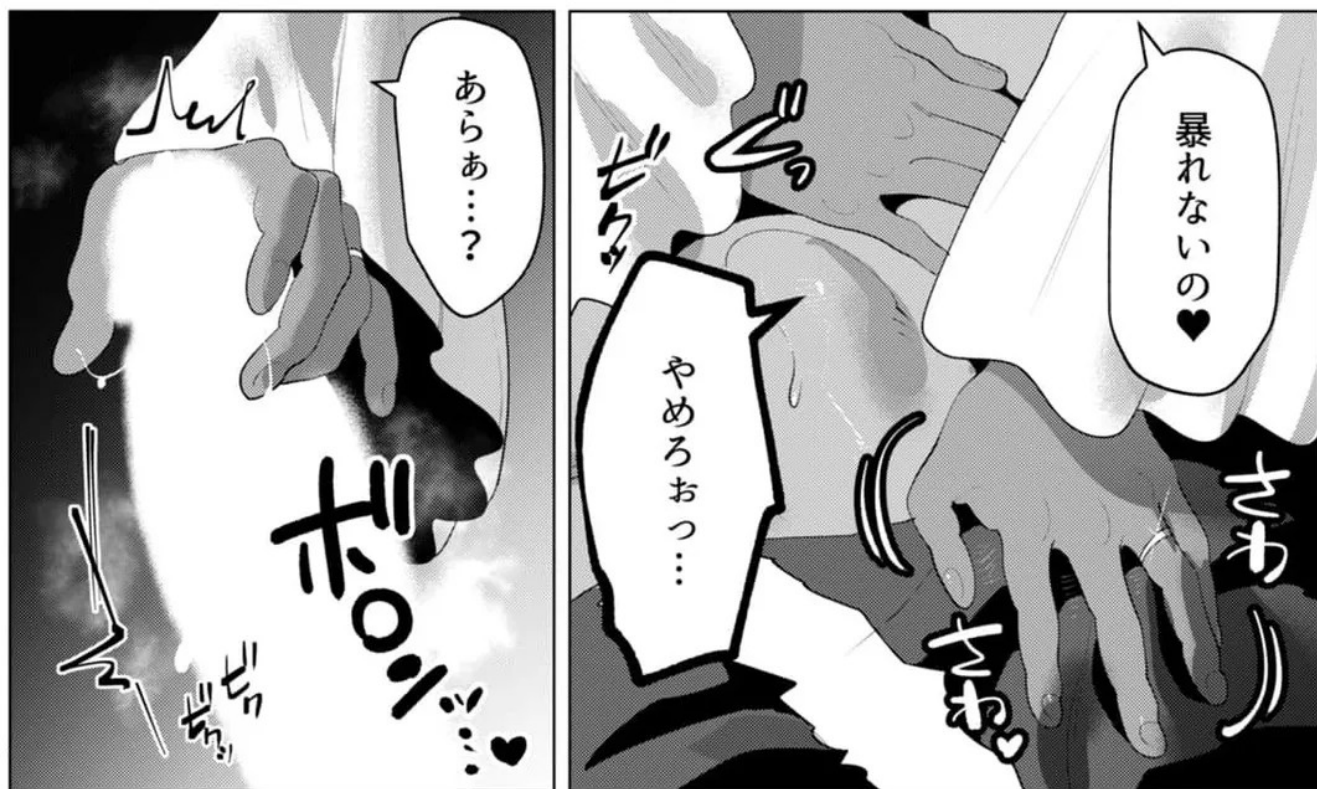
だけどあなた

力の差が
分らないの…？

しょうがない
わねえ









あなたがこうやって
弱い女をいじめて



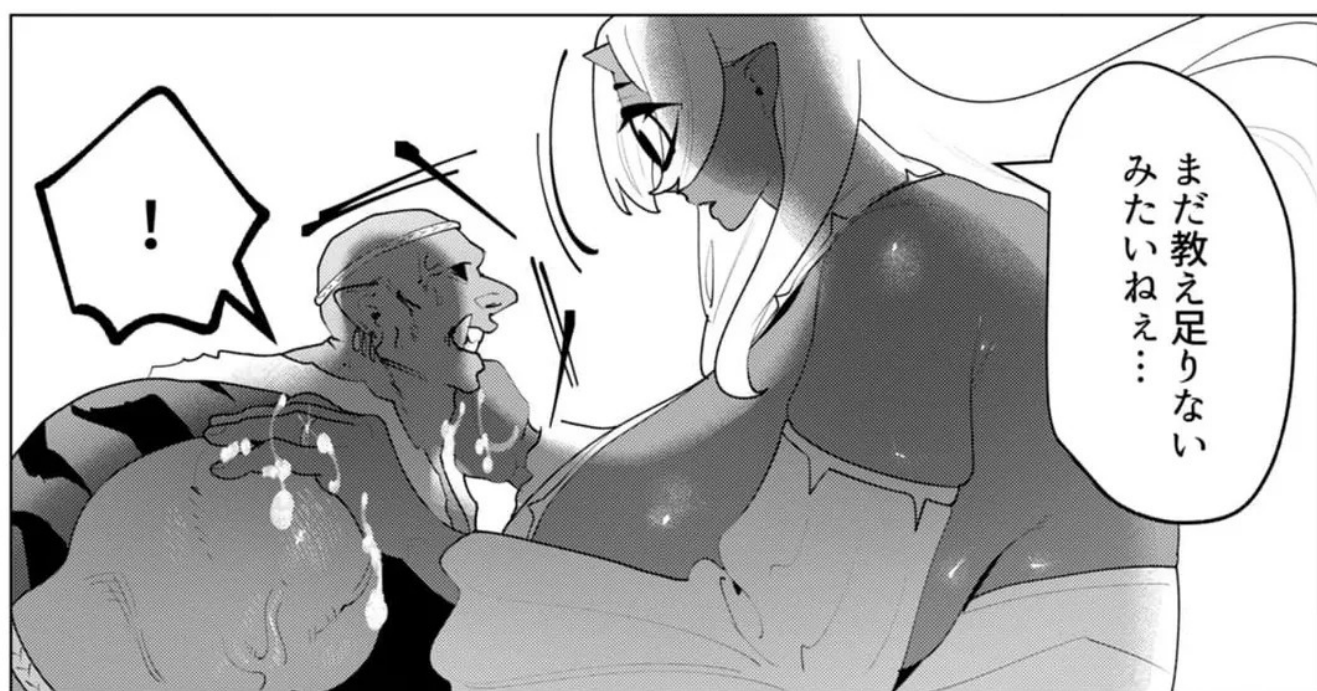
私この目で
見ていたわよ



己の欲望をぶちまけるとこ♡



うああ——っ!!













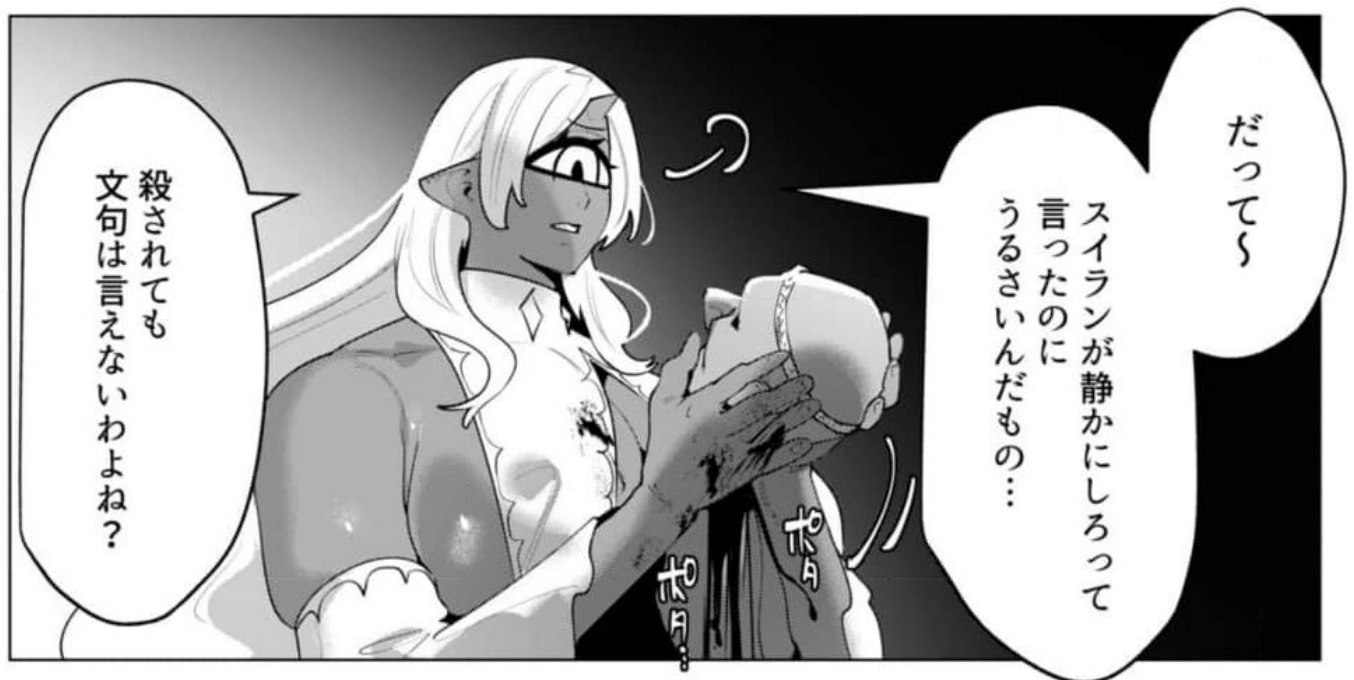




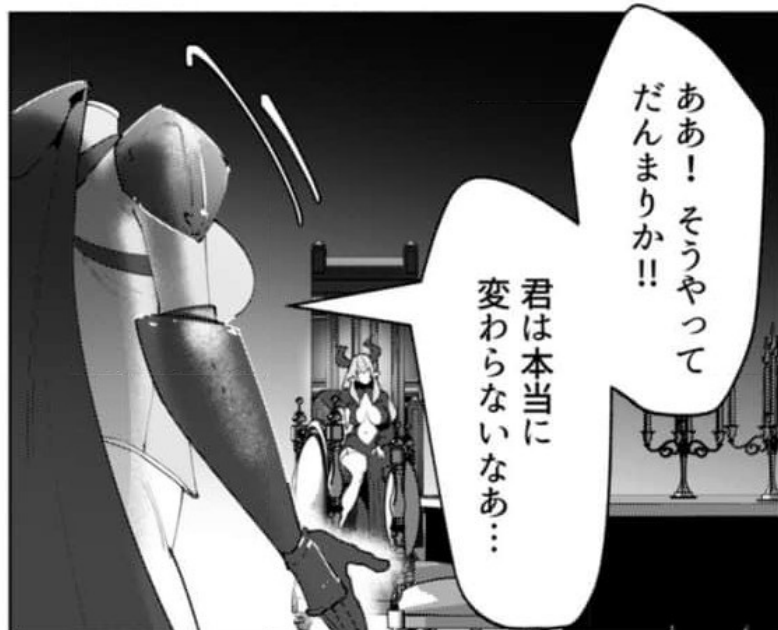
分かってよかった♡

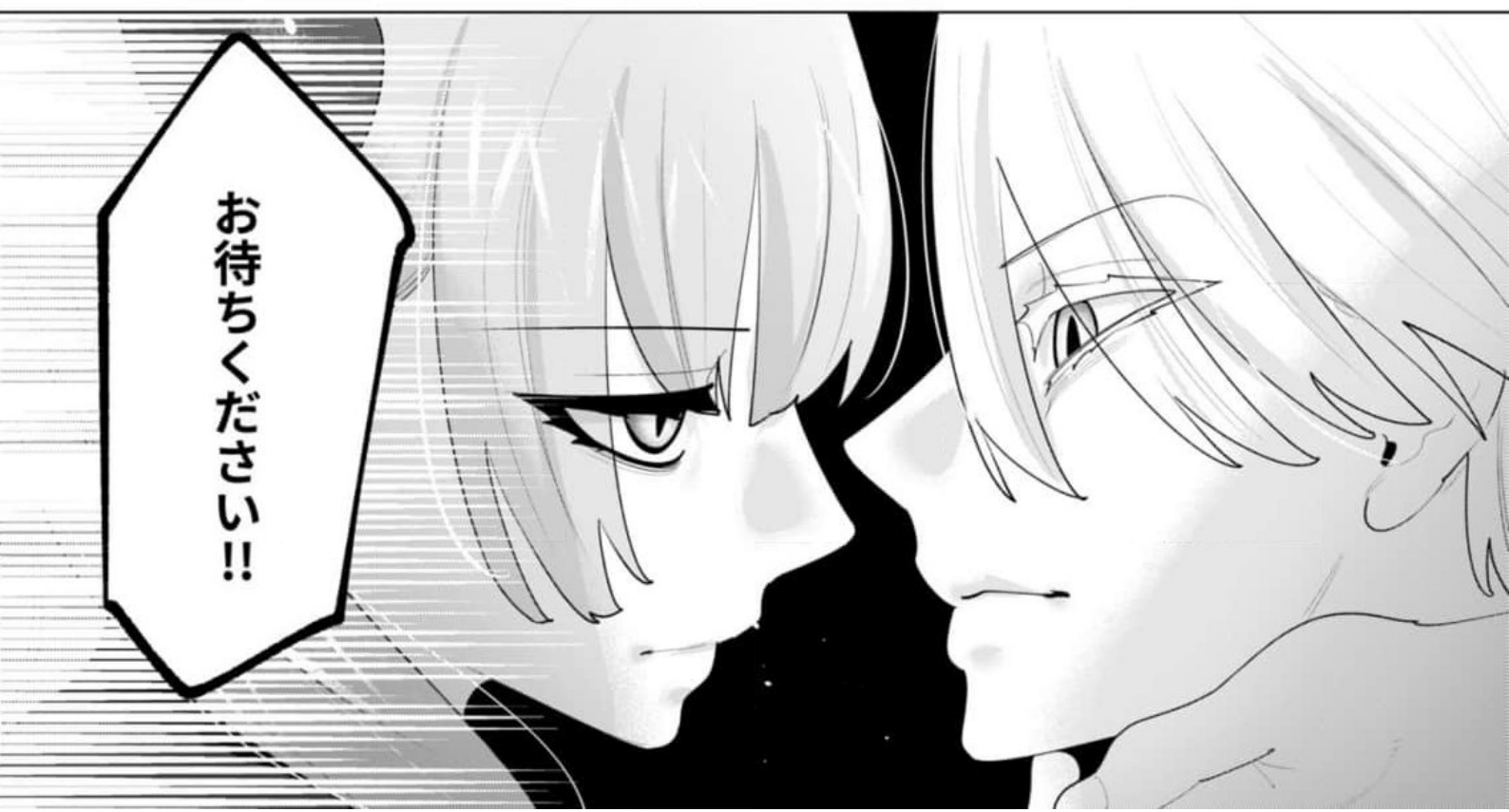


なっ



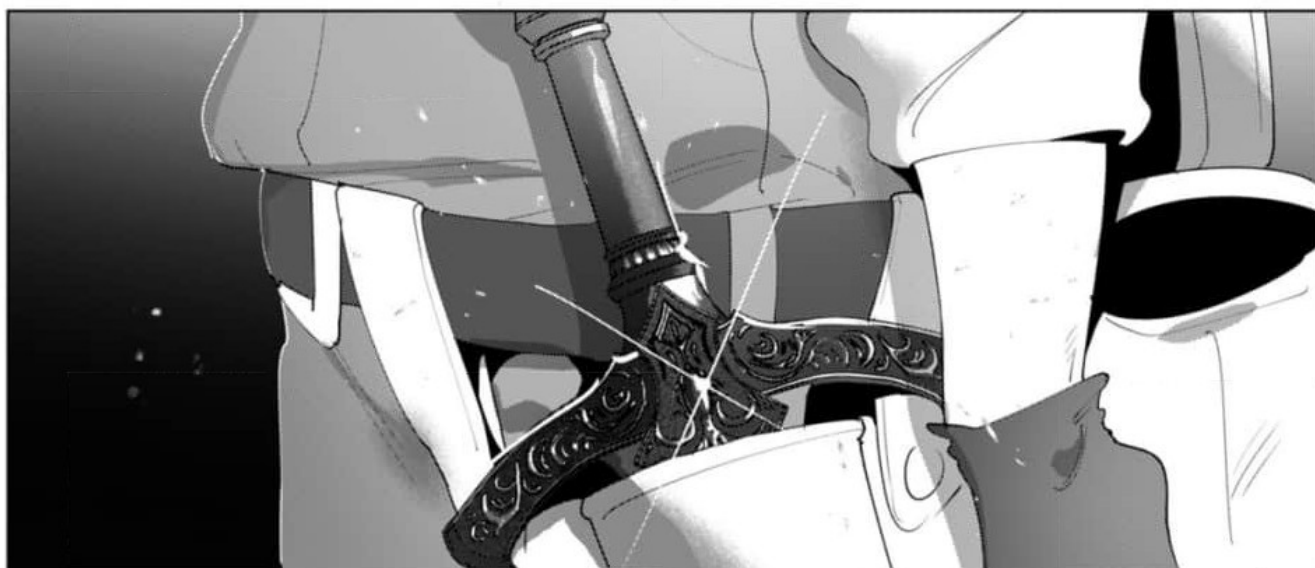


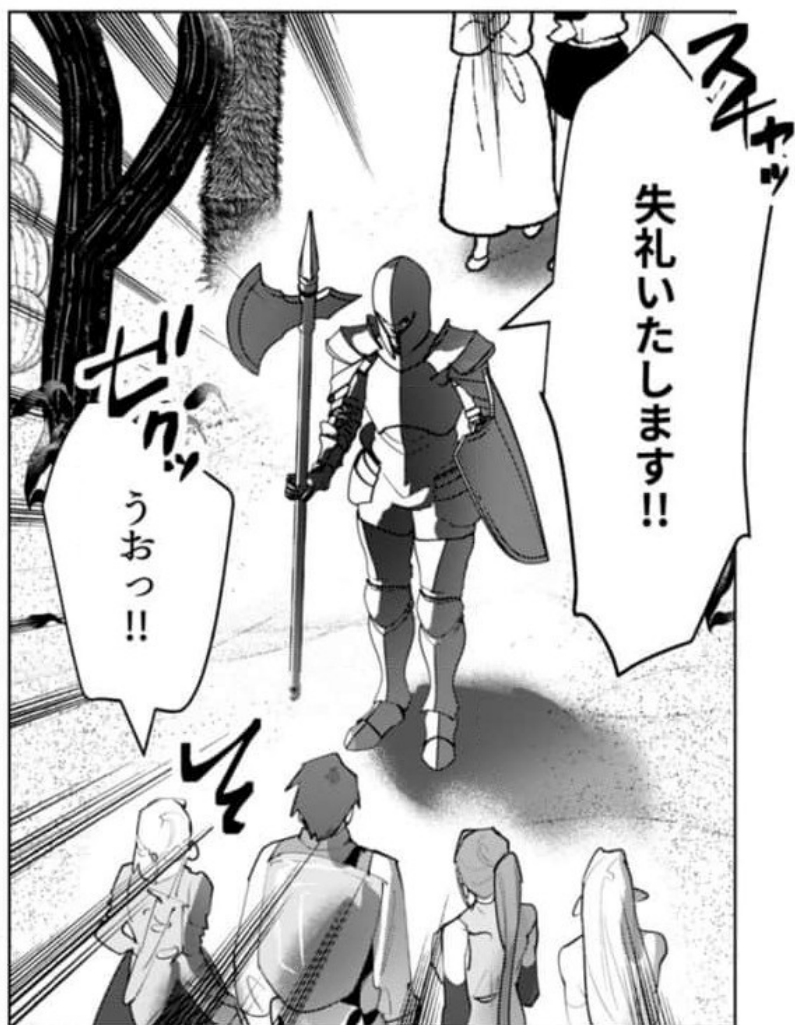








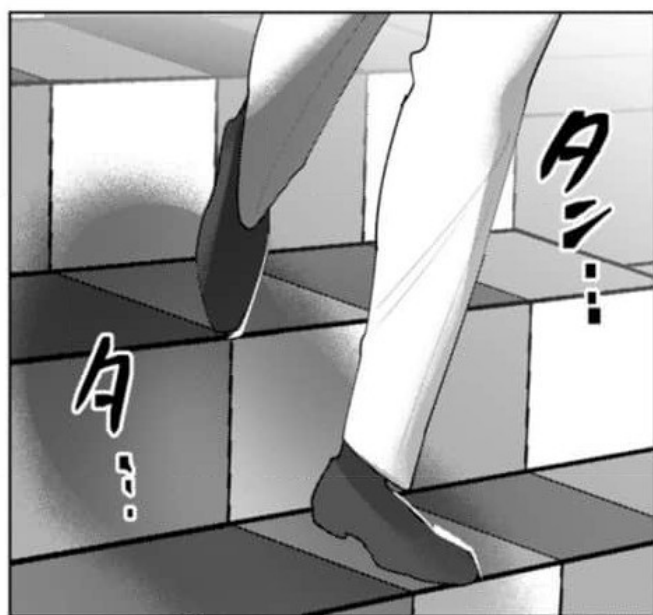














久しぶりだね
ミア!

トレベス様っ…!!

ワトリア王国 国王
トレベス・ワトリア
(ミアの旦那)

どうしたんだい?





勇者^{さま}は報酬に
人妻^を
ご希望です

第26話

ワナトリア王国の
王として

君に話さなきゃ
いけないことがある

ワナトリア王国 国王
トレバス・ワナトリア

……っ

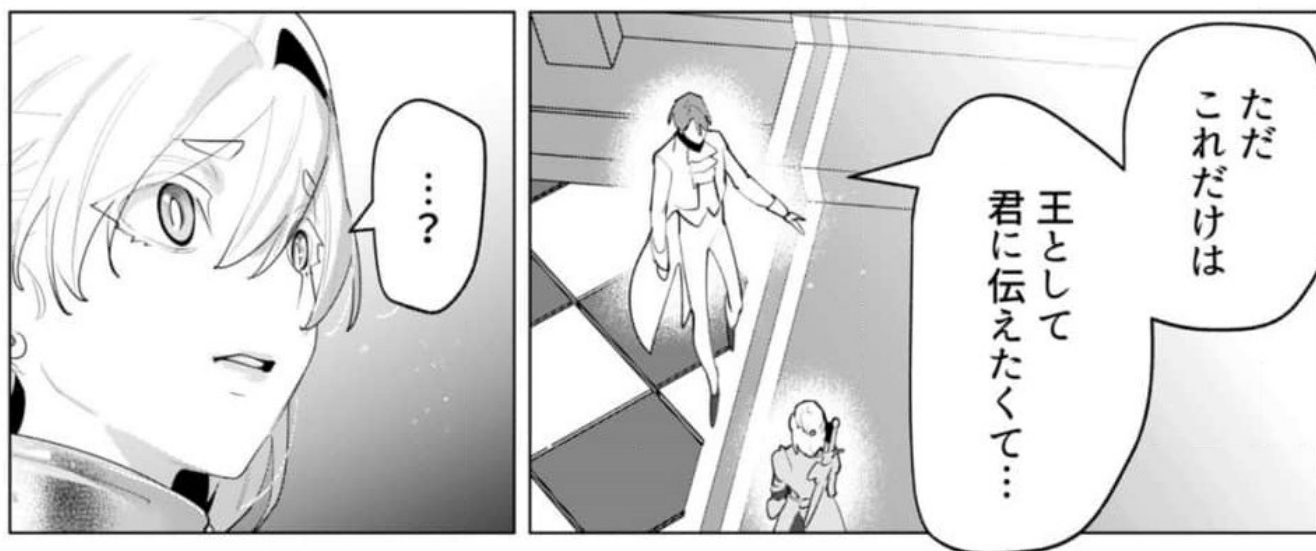
まずは
一人の男として……だね

……いや

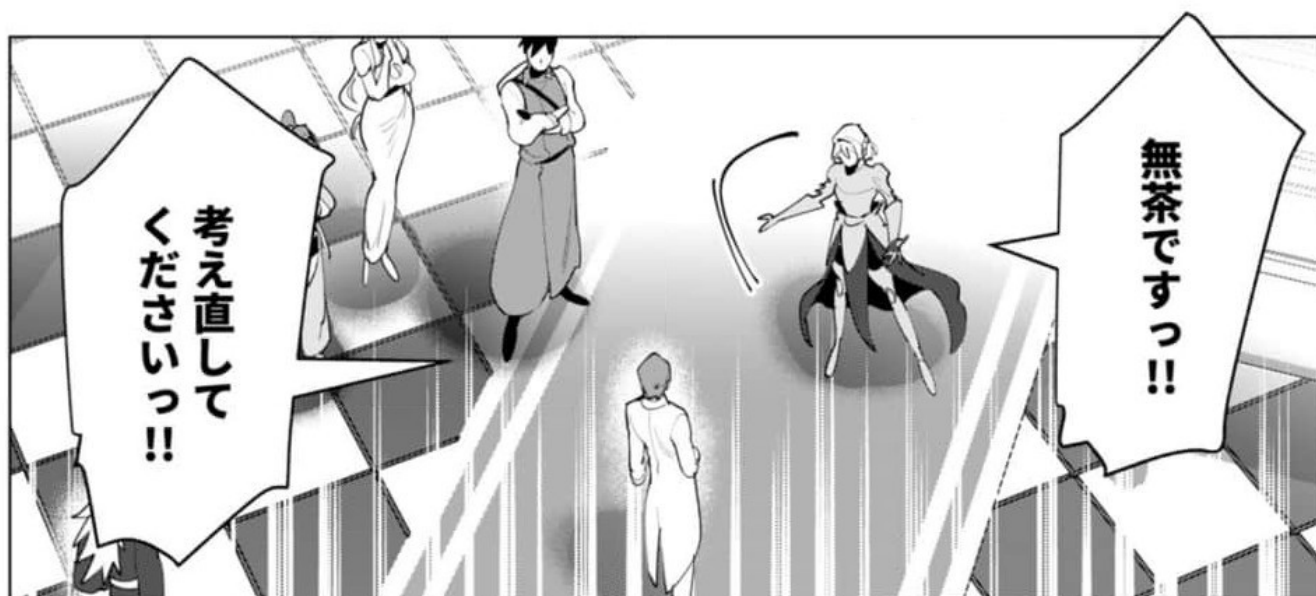


騎士団長である君が
僕を護るのは当然だと
思っていたよ

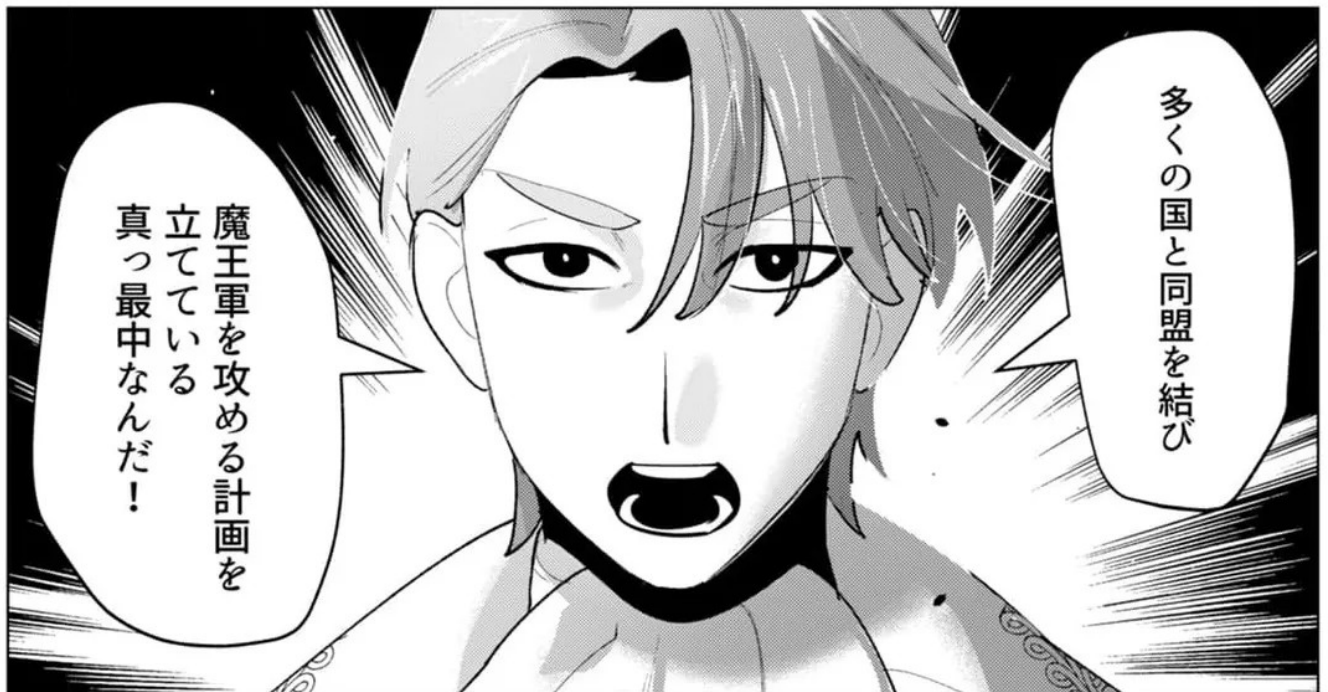
あの頃の僕は
自分の保身しか
考えていなかった...













トレベス様...



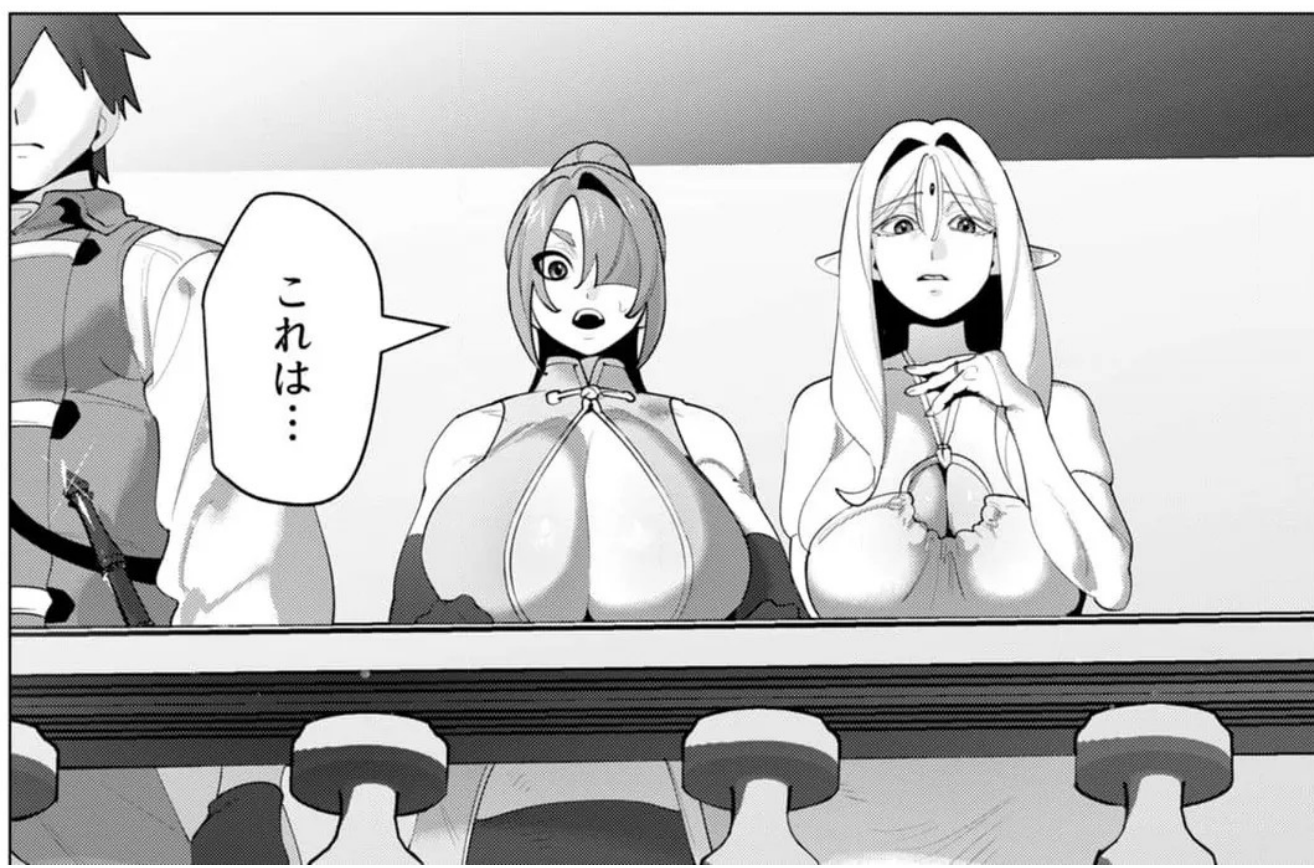
だから...
僕が守らないとっ...!!



お変わりに
なりましたね...

...

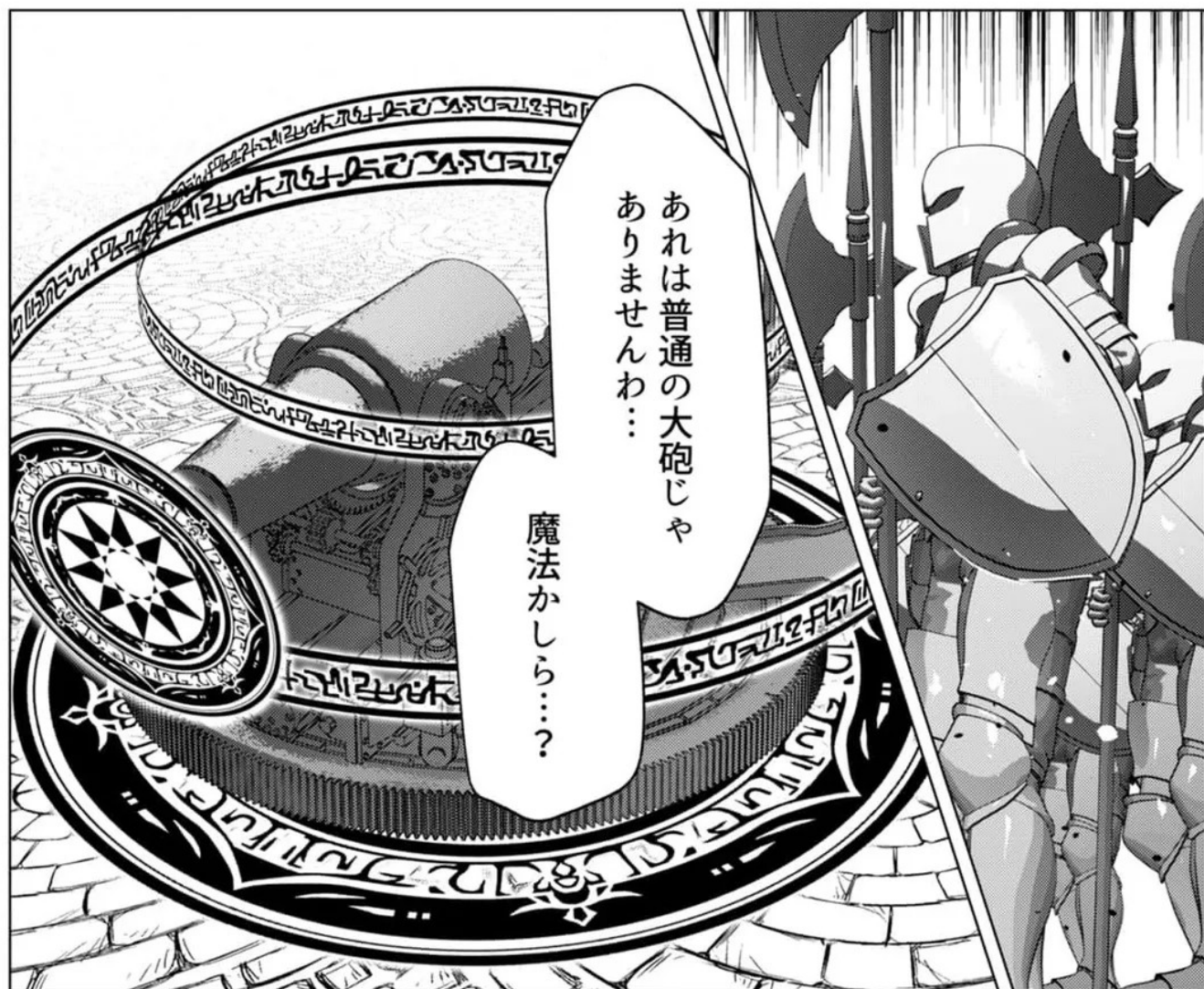






凄い数の
兵士だ…

ガッ



あれは普通の大砲じゃ
ありませんわ…

魔法かしら…？





魔族を支配する

我々は魔王を倒し…



その為に
勇者クロエ…

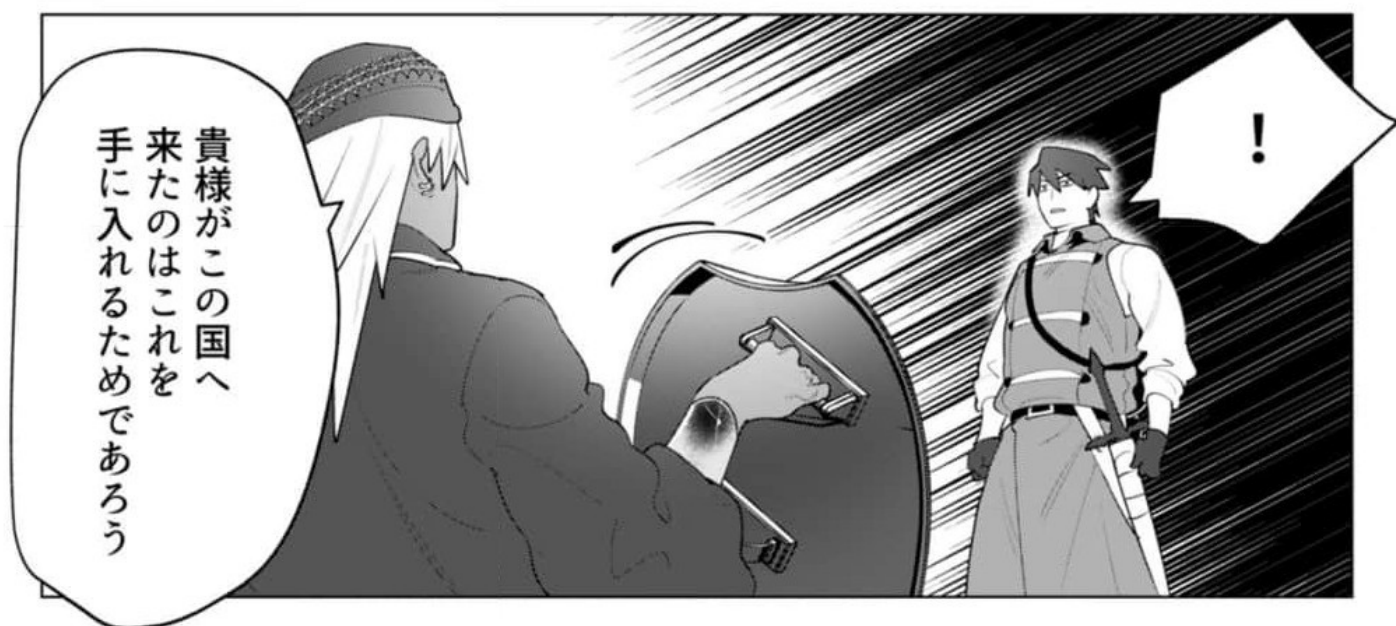
貴様の力を貸せ



貴様に我々の
軍事を率いる栄誉を
授けよう

地位も名誉も
女も手に入る

悪い提案では
ないだろう？



聖光の盾…

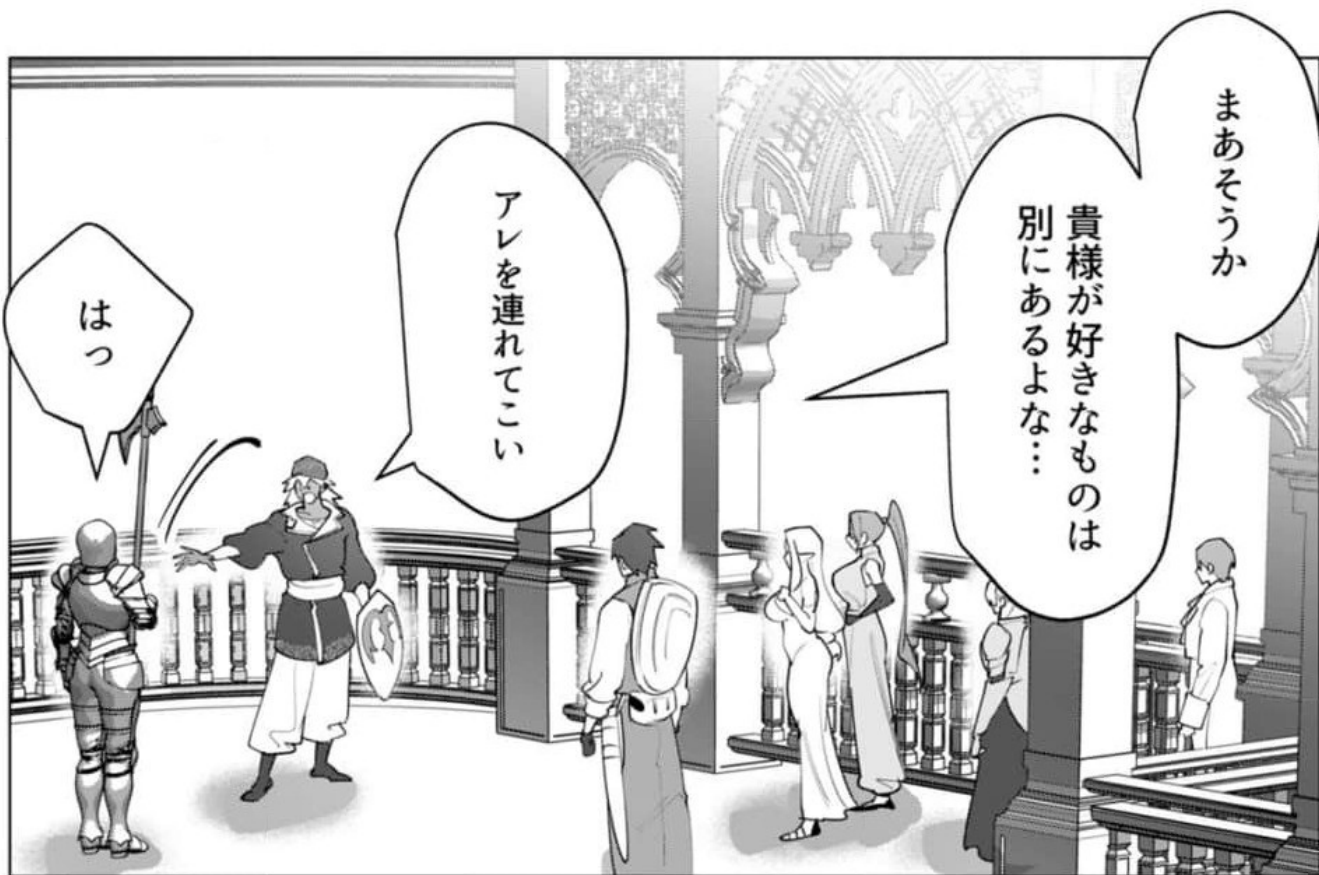
この国に伝わる
宝具だ

貴様が我が軍に加わるのであれば
これを使わせてやってもよいぞ

我々にはこの宝具に
頼らずとも
強大な力があるからな！

ん？
乗り気じゃないな

…







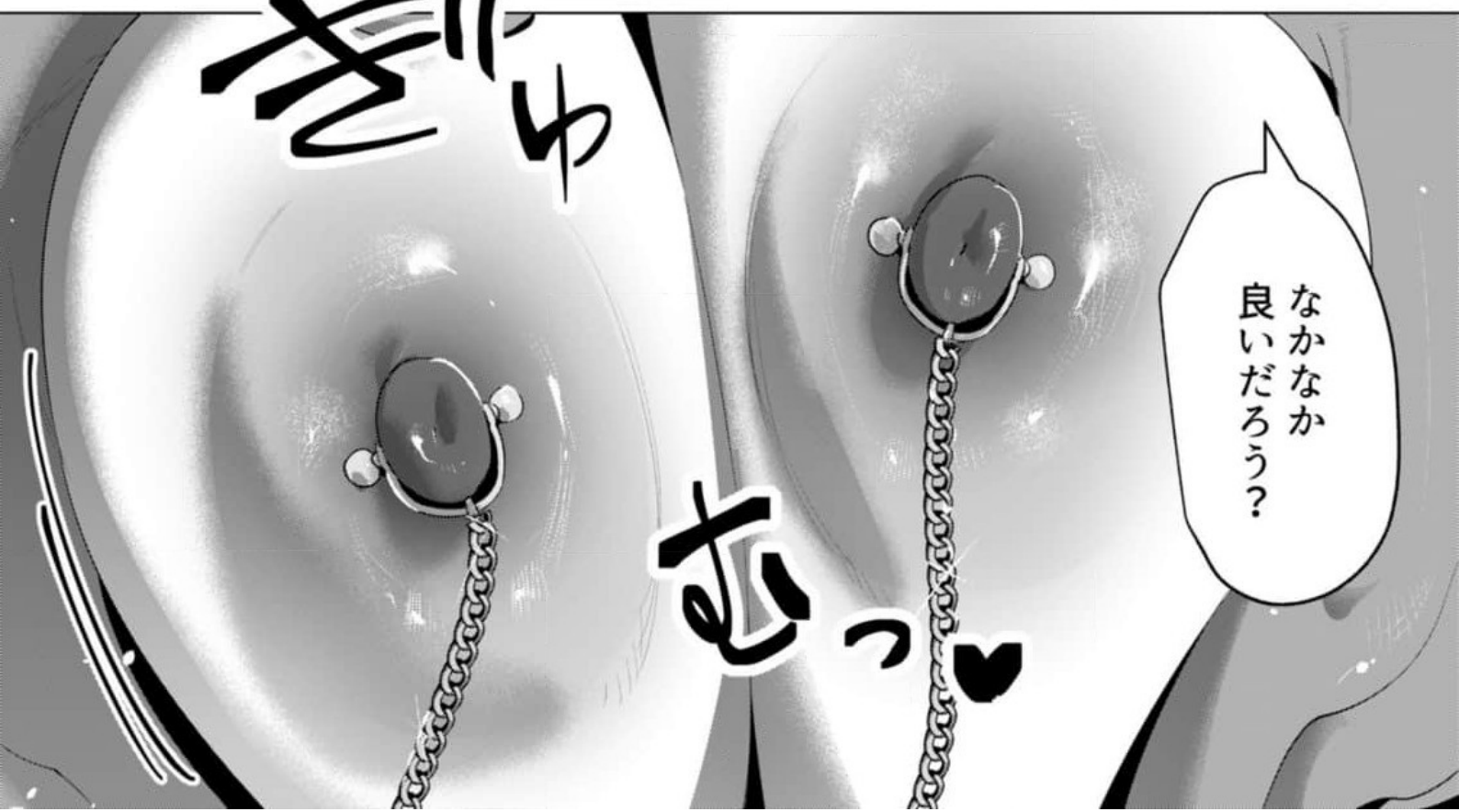




どうだあ？

いや…っ

見ないでよっ…



なかなか
良いだろう？



















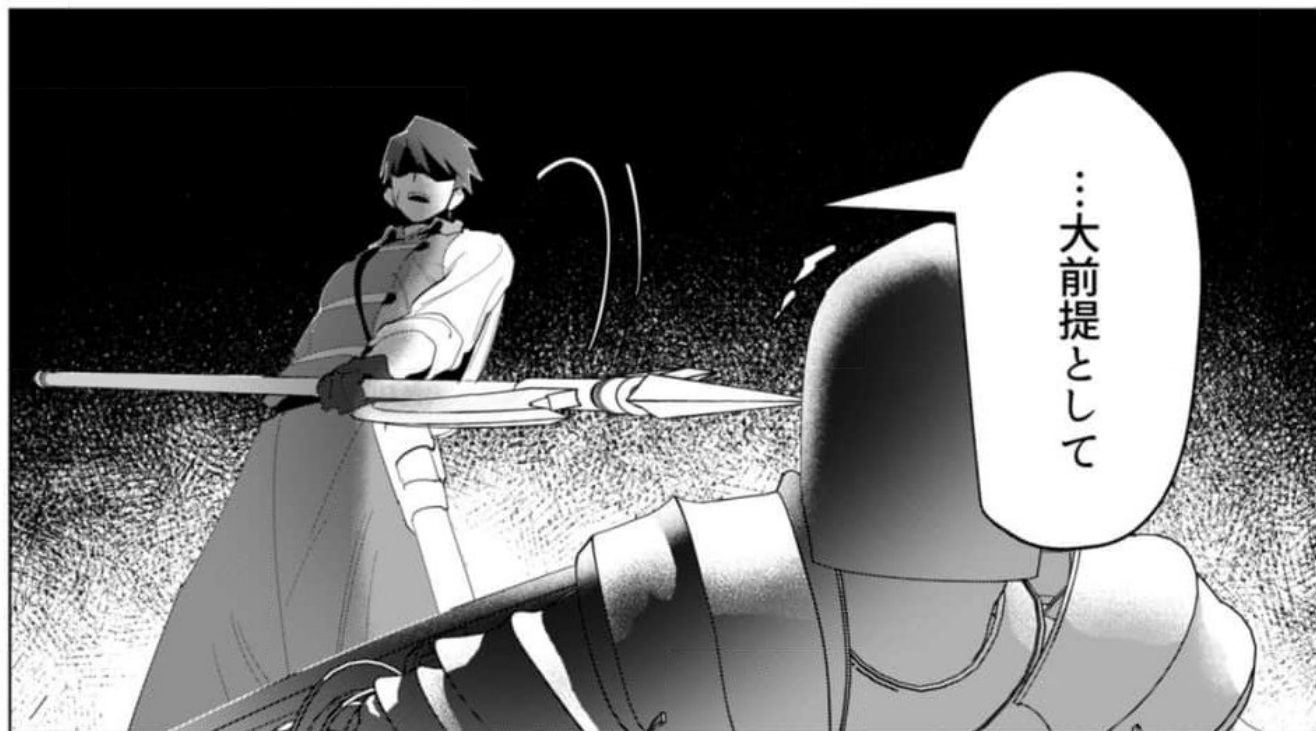
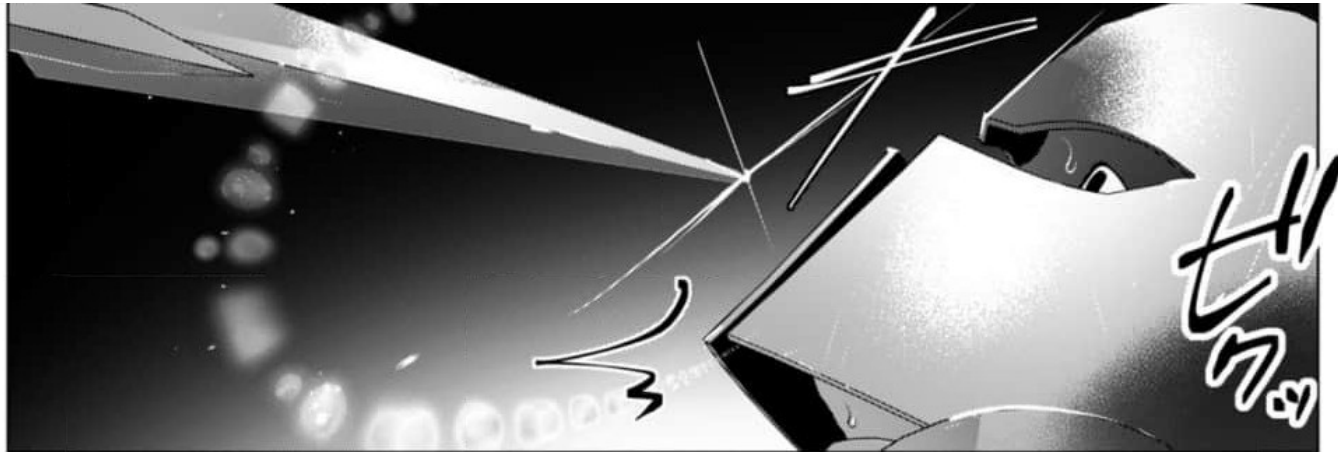


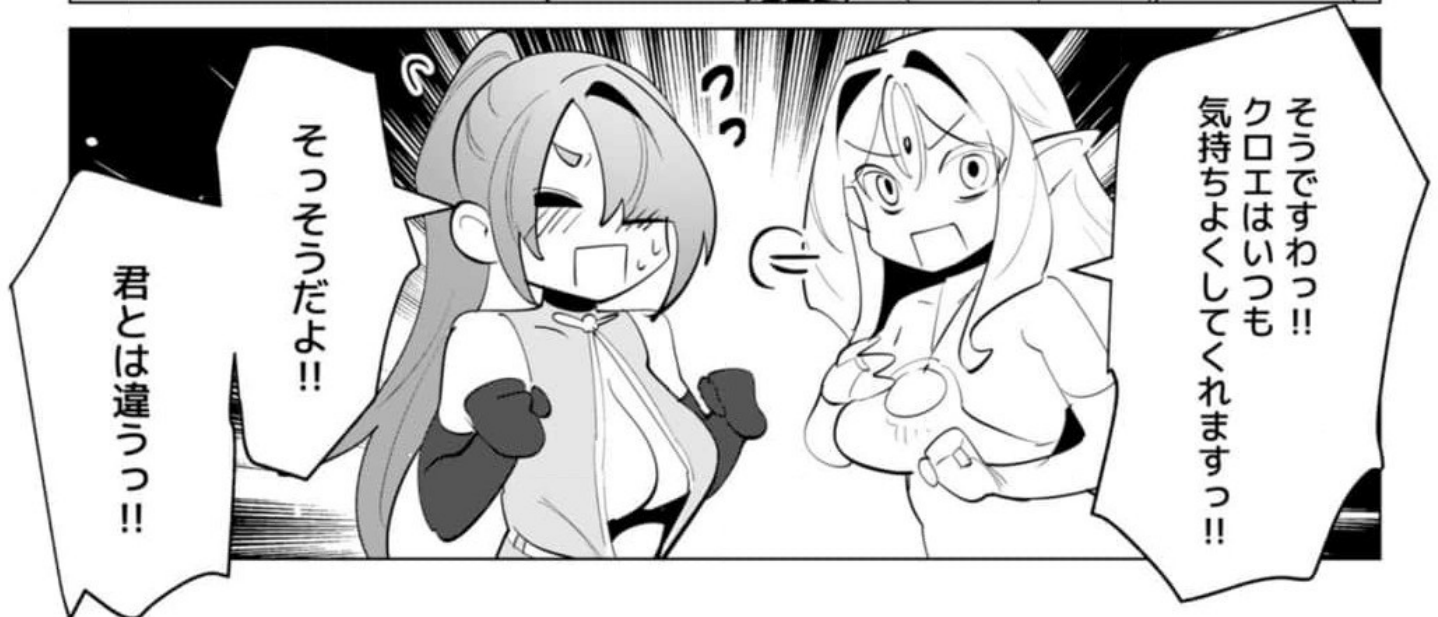






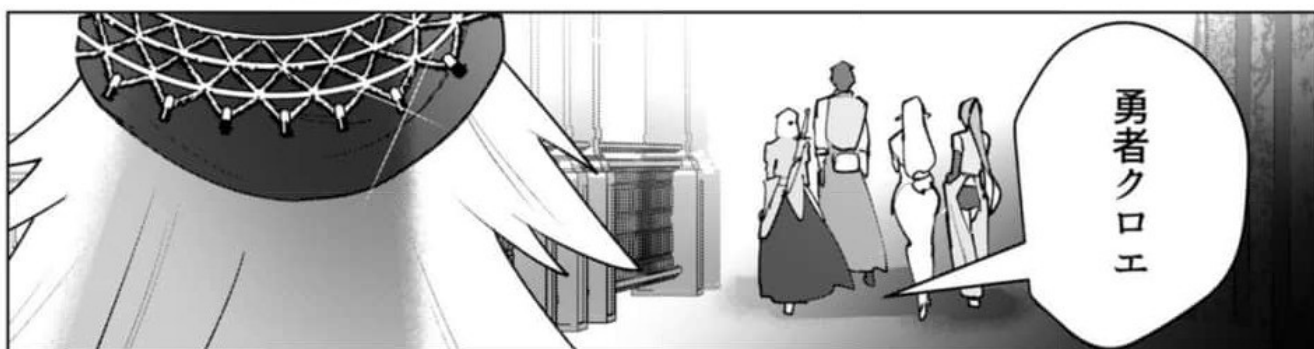








第7巻につづく



勇者^{さま}は報酬に
人妻^を
ご希望です



